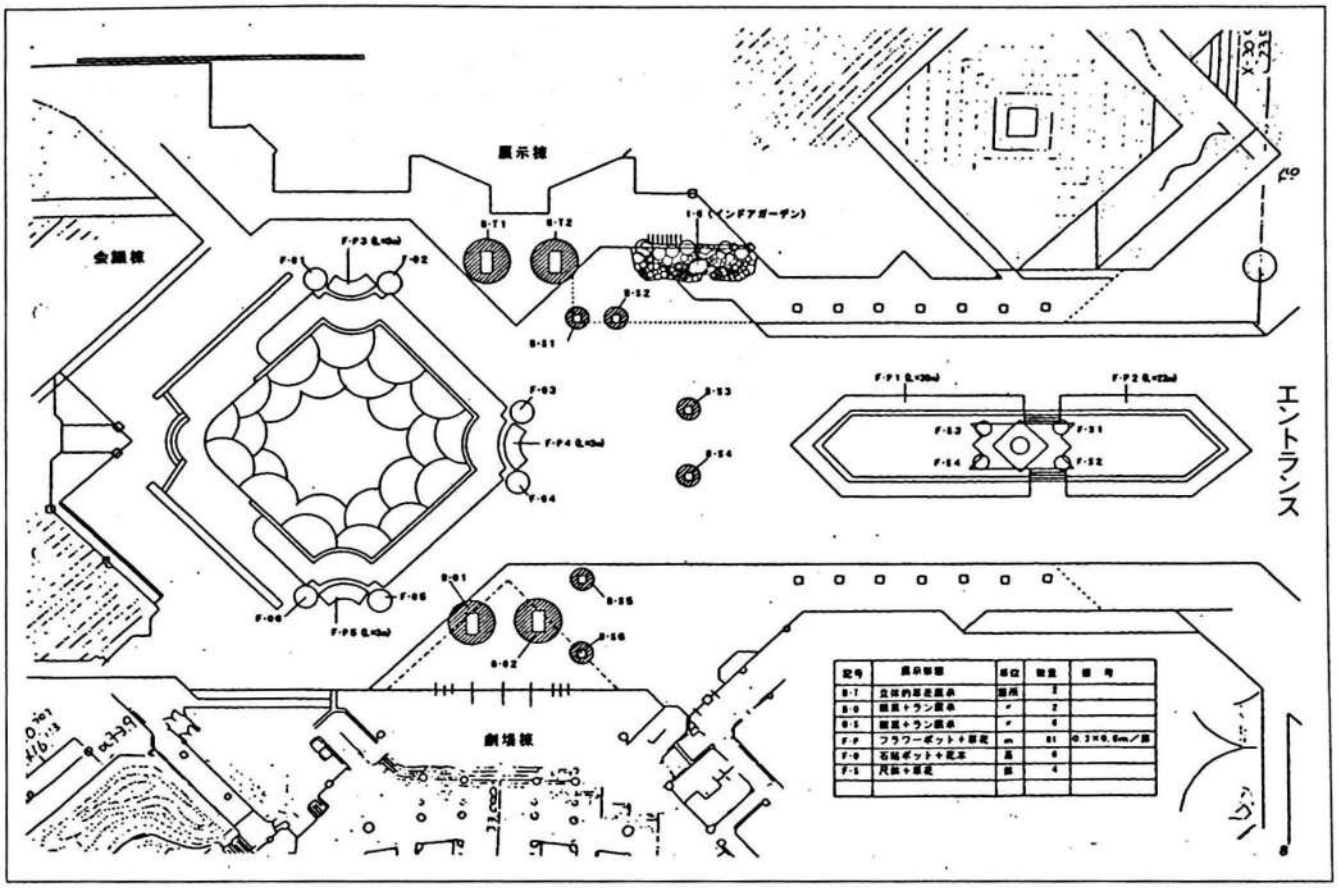
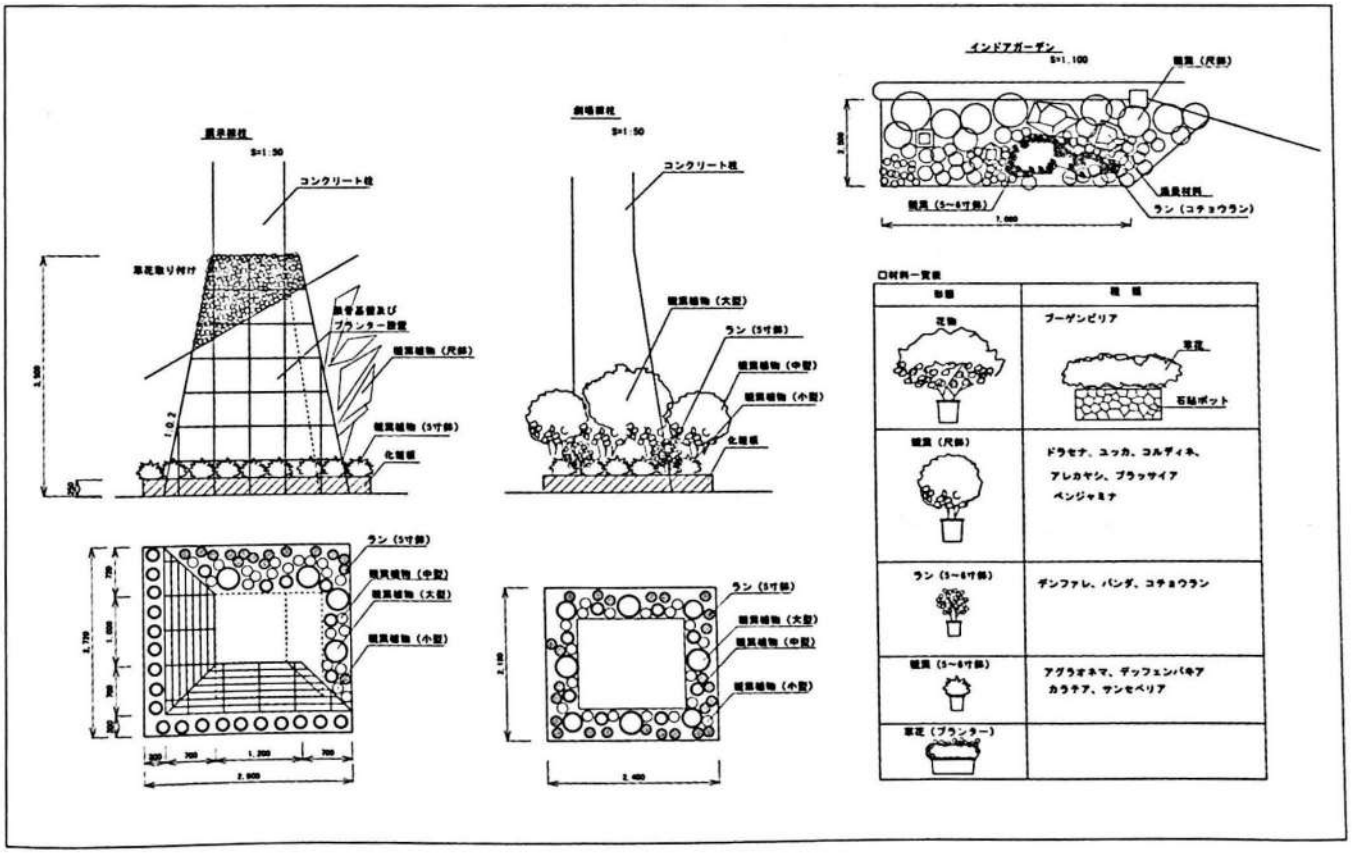
コンベンションセンター周辺飾花計画図



飾花構成図



(2) 招待関連

本大会は、世界各国からの参加者と県民が一体となって開催される世界大会であり、本大会において各種のイベントを開催し、広く内外にアピールするとともに、新たな世紀を迎え、本県が国際交流の拠点として飛躍することを目指すものである。

このため、海外をはじめ県内外からの参加者への招待又は案内が重要な意義をもつものであることから、招待者の区分、招待者の範囲及び処遇に係る基本的な方針を以下のように定め、招待業務を進めた。

なお、招待以外の一般参加者に関しては、海外県人会、国内県人会に対して参加者名簿の取りまとめを依頼し、大会運営に役立てた。

また、参加者や招待者の区分が一目で分かるようにするとともに、海外参加者のバス無料乗車の目印とするため、ワッペン及びバス無料乗車証を作製して配布した。

ア　大会記念表彰

本表彰は、在住先国において教育、文化、体育、社会福祉、産業経済等に貢献のあった者や県系人社会の福祉の向上に功績があった者について、これを顕彰することを目的として、大会史上初めて実施された。

(ア) 経緯

・世界のウチナーンチュ大会記念表彰規程及び同実施要領の制定（H13年8月１3日）

・大会記念表彰候補者の推薦依頼文書の発送（H13年8月16日）

・大会記念表彰選考審査員の就任依頼（H13年9月26日）

・大会記念表彰選考審査会の開催（H13年10月4日）

(イ) 大会記念表彰の対象、分野等

・表彰者　　表彰は沖縄県知事が行う。

・表彰の対象

①移住者の生活・福祉の向上及び県系人社会の発展に貢献した者

②在住国の発展に尽力することにより県系人の社会的地位の向上に貢献した者

③沖縄県の振興に寄与した者

・表彰の分野

①教育

②文化

③体育・スポーツ

④社会福祉

⑤産業経済

⑥政治・行政

⑦一般篤行

・選考基準　　表彰の対象となる者は、原則として年齢満８０歳以上であり、かつ在住国における在住歴が４０年以上の者とする。

(ウ) 選考結果及び表彰式について

大会記念表彰選考審査会を経て海外６カ国から４０名の表彰が決定され、大会開催式典の場で知事から表彰状の授与と記念品が贈呈された。また、健康上の都合等により大会に参加できなかった被表彰者に対しては、大会終了後、実行委員会主催による現地大会記念表彰式を行った。

イ　ウチナー民間大使及び海外功労者

ウチナー民間大使や海外県人会長のほか４０人の功労者枠を設定して大会に招待し、旅費の一部を負担することとした。４０人の功労者については、規模の大きい県人会毎に人数を配分し、県人会長の推薦に基づいて実行委員会会長が決定した。

ウ　ＶＩＰ招待者

沖縄県・市町村の姉妹提携先の長、関係省庁大臣、歴代沖縄開発庁長官、関係国在日大使、国際交流関係機関の長等１５３名（海外及び国内）の方々に大会への招待状を送付した。なお、招待者名簿の作成に当たっては、本大会及び沖縄をアピールする意味から実際の参加可能性に関係なく、幅広く人選を行った。

エ　一般招待者

海外留学生ＯＢ、海外マスコミ、海外県人会役員等を一般招待者として招待した。

第3回世界のウチナーンチュ大会記念表彰者一覧

●国名：ブラジル共和国

	氏名	生別	年齢	功績内容
	新城精栄	男	89	入植地における日本語学校の建設に尽力されるとともに学務委員長及び父兄会長を歴任し、子弟の日本語教育の指導に努めるなど県系人の人材育成及び地位向上に貢献した。
	和宇慶朝六	男	88	多年にわたりブラジル沖縄県人会の役員を歴任し県系人の福祉向上に尽力し、琉球古典音楽の普及と継承に努め子弟の育成を図るなど沖縄文化の発展向上に貢献した。
	山城ジョゼ	男	88	邦字新聞の創刊に参画するなど多年にわたりジャーナリズムの発展に寄与し県系人の社会的地位の向上に尽力し、執筆活動を通して日本文化や沖縄移民の紹介をするなど日系人及び県系人社会の発展に貢献した。
	照屋マーリオ	男	87	ブラジル沖縄県人会の要職を歴任し戦後の郷土救援活動を通して本県の復興に尽力し、那覇市とサンビセンテ市の姉妹都市提携に努めるなど国際交流の推進に貢献した。
	天願信行	男	86	多年にわたりブラジル沖縄県人会役員の要職を歴任し県系人社会における指導的役割を果たすなど県系移住者の生活福祉の向上及び県系人社会の発展に貢献した。
	嘉陽宗信	男	85	多年にわたりブラジル沖縄県人会活動に参画し日伯援護協会役員の要職を歴任するなど県系人及び日系人社会の福祉向上に尽力し、琉球古典音楽の普及及び子弟の指導育成に貢献した。
	長田栄治	男	83	ミラカツー市議会議員として市勢の発展に尽力し県系人の社会的地位の向上に貢献し、多年にわたり日伯援護協会地方委員の要職を歴任し日系社会の福祉向上に貢献した。
	花城清和	男	80	全伯沖縄海外協会の創設及び基盤づくりに尽力し、多年にわたりブラジル日本文化協会評議員等の要職を歴任し県系人及び日系人社会の発展向上に貢献した。
	翁長英雄	男	80	全伯沖縄海外協会の創設及び基盤づくりに参画し県系人の福祉向上に尽力し、多年にわたりブラジル日本文化協会評議員等の要職を歴任し日系人社会の発展向上に貢献した。
	名嘉真蔡蔵	男	90	多年にわたりロンドリーナ沖縄県人会長の要職を歴任し県系人の福祉向上及び子弟の教育に尽力し、名護市とロンドリーナ市の姉妹都市提携に努めるなど国際交流の推進に貢献した。

第3回世界のウチナーンチュ大会記念表彰者一覧

●国名：ブラジル共和国

	氏名	生別	年齢	功績内容
	花城淑子（はなしろ よしこ）	女	92	イタリリー婦人会を創設し移住者の生活福祉の向上をはじめ女性の社会参加を積極的に推進し、沖縄文化や料理の普及を通して市民との交流を図るなど県系人の社会的地位の向上に貢献した。

●国名：ペルー共和国

	伊芸銀勇（いげい ぎんゆう）	男	93	多年にわたり日本語教育の普及に努め日系人社会における人材育成に尽力し、ペルー沖縄県人会長並びにペルー中央日本人会長の要職を歴任し邦人の指導者として日系人の福祉及び地位の向上に貢献した。
	具志堅善光（ぐしけん ぜんこう）	男	92	戦後荒廃した郷土の救援活動を通して本県の復興に尽力し、ペルー沖縄県人会長として移住者の生活福祉の向上及び県系人社会の発展に貢献した。
	金城光太郎（かなしろ こうたろう）	男	90	日本製品の輸入事業に携わり販売拡充に努めその普及と発展に寄与し日本の産業振興に尽力するとともに県系人の社会的地位の向上に貢献した。
	安里昌一（あさと しょういち）	男	90	多年にわたり琉球古典音楽の普及と子弟の指導育成に努めるなど海外における沖縄伝統文化の向上発展に貢献した。
	伊芸富夫（いげい とみお）	男	87	多年にわたりペルー沖縄県人活動に参画し県系人の生活福祉の向上に努め県人会館の建設実現に尽力し県系人社会の発展に貢献した。
	仲地正男（なかち まさお）	男	91	本部町人会長の要職にあって同会創立５０周年式典を実施するなど郷土出身者の生活福祉の向上に努め、日秘文化会館会長等の要職を歴任し県系人の社会的地位の向上に貢献した。
	亀甲美智子（かめこう みちこ）	女	82	ペルー沖縄婦人会長等の要職を歴任し多年にわたり女性の社会参加を積極的に推進し、地域の行事を通して沖縄料理の普及に努めるなど県系人女性の地位向上及び沖縄文化の発展向上に貢献した。

第3回世界のウチナーンチュ大会記念表彰者一覧

●国名:アルゼンチン共和国

	氏名	生別	年齢	功績内容
	大城秀光	男	81	沖縄県人連合会長及び同会館建設委員長を歴任し県系人社会の発展に尽力し、日系老人クラブ連合会の創立に参画し日系老人の親睦融和を図るなど日系人の福祉向上に貢献した。
	玉城昌一	男	75	在亜沖縄県人連合会長等の要職を歴任し新会館建設を実現するなど県系人の福祉の向上に寄与し、在亜日系団体連合会長として日系団体の連帯強化と融和に尽力し日系社会の発展に貢献した。
	佐久川忠助	男	85	在亜沖縄県人連合会長等の要職を歴任し運動施設及び日本語教育施設の整備に努め県系人の福祉向上に尽力し、日本文化の紹介を通して日亜友好親善の基盤づくりに貢献した。
	山城剛男	男	82	多年にわたり日本語学校の運営及び新校舎の建設に尽力し人材育成に努め、在亜日系老人クラブ連合会長として同会の活性化と老人福祉の向上に貢献した。
	上原次郎	男	91	コルドバ日本人会創立に参画し日本語学校の設立及び肺結核療養所の支援に尽力するとともに日本語学校維持会長の要職にあって日本語教育の基盤整備を推進するなど日系社会の発展に貢献した。
	東江新得	男	78	在亜名護浦曲会長の要職を歴任し郷土出身者の生活福祉の向上に尽力し、旧名護町人アルゼンチン移住誌の編集執筆に取り組み同町移民の業績を記すなど後世への歴史伝承に貢献した。
	新垣善幸	男	87	多年にわたり在亜沖縄県人会連合会の役員を歴任し県系人社会の発展に寄与するとともに在亜日系人倶楽部連合会初代会長等を務め日系人の福祉向上に貢献した。

●国名:ボリビア共和国

	友利金三郎	男	83	入植当初に移民団のとりまとめ役を努めその後は移民受入委員として後続移住者のために尽力し、オキナワ日ボ協会長及びボリビア沖縄県人会長を歴任し地域社会の発展と県系人の福祉向上に貢献した。
	神谷ヨシ	女	80	入植当初から移住地における医療担当としてうるま病に苦しむ人々のために昼夜を問わず看病に奔走し、多年にわたり助産婦及び看護婦として県系人の健康管理に尽力し生活福祉の向上に貢献した。

第3回世界のウチナーンチュ大会記念表彰者一覧

●国名:アメリカ合衆国

氏名	生別	年齢	功績内容
佐喜真　彰	男	82	戦後の救援活動に参画し山羊等の救援物資の輸送に努め本県の復興に尽力し、ハワイ州議会議員として多年にわたり政治の場で活躍するなど県系人の社会的地位向上に貢献した。
仲嶺真助	男	89	戦後の救援活動を通して本県の産業経済の復興に尽力し、ハワイ日系人連合会役員等の要職を歴任し沖縄文化の普及やハワイ州と本県の交流促進及び邦人の社会福祉の向上に貢献した。
金城喜久枝	女	83	多年にわたり地域行事への積極的な参画を通し琉球舞踊の普及に尽力し、後継者の指導育成に努めハワイにおける本県の伝統文化の向上発展に貢献した。
照屋アルバート	男	88	ハワイのビジネス団体役員等の要職にあって産業経済の振興に尽力し、福祉事業や慈善団体を支援するなど地域社会の発展に寄与し県系人の社会的地位の向上に貢献した
仲宗根ハリー盛松	男	89	多年にわたり沖縄の伝統的な三線奏法の研鑽を積みハワイにおける琉球古典音楽の普及と後継者の育成に尽力し、演奏公演活動を通して世界的な普及に努めるなど沖縄伝統文化の向上発展に貢献した。
上江洲易男	男	82	ドクター山城義雄氏、宮里昌平氏、渡名喜源美氏、仲間牛吉氏、島袋貞栄氏、安慶名良信氏と共にハワイ連合沖縄救済会が行った豚輸送に携わり、戦争により荒廃した沖縄県民に勇気と希望を与え郷土の経済復興に貢献した。
外間盛安	男	87	戦中戦後を通して県出身捕虜の救援さらには乳山羊輸送隊長として郷土の救済活動に参画するなど本県の経済復興に尽力し、ハワイ沖縄県人連合会長として県系人の福祉向上に貢献した。
山内昌安	男	86	日本の伝統食品である豆腐等の販売網を全米に拡げウチナーンチュビジネスマンとして活躍し、北米県人会館の整備に尽力し県人会活動の発展に寄与するなど県系人の社会的地位の向上に貢献した。
上江洲智秀	男	85	多年にわたり医師として医療業務に携わり日系人の健康管理に努め引退後も積極的に健康相談に応じるなど県系人及び日系人の福祉向上に貢献した。
天願幸子	女	81	多年にわたり北米沖縄県人会婦人会長等の要職を歴任し南カリフォルニアにおける女性の社会参加を積極的に推進し、市民との交流を図るなど県系人女性の地位向上及び福祉の向上に貢献した。

第3回世界のウチナーンチュ大会記念表彰者一覧

●国名：アメリカ合衆国

	氏名	生別	年齢	功績内容
	島　庄寛（しま しょうかん）	男	100	戦中戦後の厳しい時代に日系人の生活基盤を支え郷土の救援活動を行うなど日系社会と本県の復興に尽力し、日本人会やワシントンＤＣ沖縄会の設立に努め日本及び沖縄と米国の交流推進に貢献した。

●国名：カナダ

	仲田正徳（なかた まさのり）	男	79	トロント球陽会を創設し多年にわたり会長の要職にあって会員の親睦交流を図り、県系子弟に沖縄文化や伝統芸能を紹介するなど県系人の生活福祉の向上及び県系社会の発展に貢献した。
	知花仁常（ちばな じんじょう）	男	84	沖縄復興援助運動に参画し地方委員として募金活動に尽力し本県の戦後の復興に寄与しバンクーバー沖縄県人友愛会の発足に努めその役員として県系人の生活福祉の向上に貢献した。

(3) 広報関連

ア 海外キャラバン

(ア) 南米キャラバン報告概要

a 日程（団員５名）

2001年6月10日(日)～6月22日(金)11泊13日

b 訪問国

南米(ペルー、ボリビア、アルゼンチン、ブラジル)

c キャラバン業務内容

(a) 説明会

県人会役員、民間大使及び一般県人会員に対して、大会及びイベント概要を説明し、大会への参加･協力を呼びかけるとともに、大会の運営及び各イベントに対する意見を聞いた。

(会次第)

①県人会会長あいさつ
②大会プロモーションビデオ上映（15分）
③団長あいさつ
④知事メッセージ贈呈
⑤大会概要説明
⑥イベント概要説明
⑦その他、質疑応答

(参加者)

4カ国６カ所で説明会を開催し、参加状況は次のとおりであった。

・ペルー……８０名
・ボリビア(コロニアオキナワ)……２４名
・　〃　(サンタクルス市)……２０名
・アルゼンチン……８０名
・ブラジル(サンパウロ市)……７５名
・　〃　(ビラカロン支部)……９０名

(b) 大使館等関係機関訪問及び現地日系プレスへの広報活動

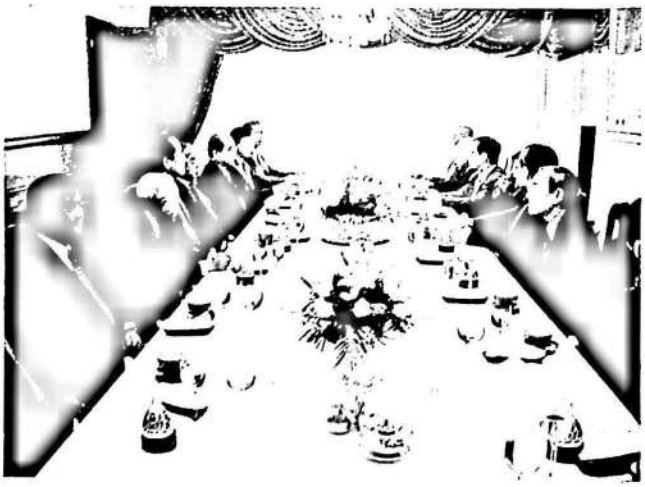
・ペルー……日本大使館、日系人協会、ペルー新報、プレンサ日系
・ボリビア…在サンタクルス日本領事事務所、CAICO･NEWS
・ｱﾙｾﾞﾝﾁﾝ…日本大使館、JICAアルゼンチン事務所、ラプラタ報知、URBANO NIKKEI
・ブラジル…日本総領事館、サンパウロ新聞、ウチナープレス新聞、ラジオ日系

(c) 持参広報ツール

・説明会資料（一部翻訳）
・大会企画書概要
・テーマソングCD
・宣伝用ビデオ
・リーフレット
・大会通信
} (日本語・ｽﾍﾟｲﾝ語・ﾎﾟﾙﾄｶﾞﾙ語)
・その他(沖縄ガイド、世界遺産パンフレット)

(d) 総評

・　どの国においても経済状況が芳しくなく、その点で大会参加者数の大幅な増加は難しいとのことだった。(県人会関係者)
・　４カ国とも、ウチナーンチュ系の旅行社が結束して、一人でも多く大会へ送り出そうと協力し合って取り組んでいた。
・　現地の旅行社から、大会事務局に旅行社の方が常駐して情報を流してもらえることを大変喜んでいた。(HPの宿泊状況も同様)
・　ジュニアスタディツアーの企画は大変評判が良く、毎年続けて欲しいとの要望が多かった。
・　今回のキャラバンは、海外の旅行社からは時期的に遅すぎるとの意見もあったが、たくさんの広報ツールを作成し、大会についての多くの情報を既に流した後のキャラバンとなったため、説明会では要点をついたスムーズな進行ができ、参加者の意見を聞く重要な時間が持てた。また、大会までの時間が少ないことから、参加者の関心がとても高まってきている時期でもあり、前回大会に比べて説明会には多くの方が参加した。
・　今回の南米キャラバンはCBCSネットワークのカメラマンが同行取材し、キャラバンの様子が同時進行でインターネット上で見ることができ、大変好評であった。また、沖縄タイムスの記者も同行し、各国での記事を翌日には沖縄の新聞に掲載し、県民への広報に大効果的であった。



ペルー日本国大使館での懇談

(イ) 北米・ハワイキャラバン報告概要

a 日程（団員４名）

2001年7月1日(日)～7月12日(木)

10泊12日

b 訪問国

アメリカ(ニューヨーク、ロサンゼルス、ホノルル)、カナダ（バンクーバー）

c キャラバン業務内容

(a) 説明会

南米キャラバンと同様、2カ国４ヵ所で説明会を開催し、参加者は概ね次のとおりであった。

(参加者)

・ニューヨーク……２２名
・ロサンゼルス……１１０名
・ホノルル……４５名
・カナダ……５０名

(b) 大使館等関係機関訪問及び現地日系プレスへの広報活動

・ニューヨーク…在ニューヨーク総領事館
・ロサンゼルス…在ロサンゼルス総領事館、羅府新報
・ハワイ……ハワイ州知事、同副知事、在ホノルル総領事館、ホノルル市長

[取材] テレビ（Star-Bulletin)、ラジオ（KZOO、K-JAPAN、KNDI）、新聞（ハワイ・ヘラルド、パシフィックプレス、イーストウェスト・ジャーナル)

・バンクーバー…在バンクーバー総領事館

(c) 総評

・ ニューヨーク、バンクーバー、ロサンゼルスの３都市は、次回大会からは日英両語による広報宣伝(プロモーション)を行うことが必要である。しかし、ハワイは世代交代が４世、５世と進み、次回大会以降は英語だけでも良いのではないか。

・ 各県人会ともキャラバン隊の活動が効果的に行えるように、関係機関に対する事前の日程調整等はよくなされ、説明会の開催・総領事訪問などスムーズに行われた。特にハワイは、マスメディアとのインタビュー（3回)、州知事、同副知事、市長表敬等、数多くの広報活動を組んでいた。各県人会役員のみなさんは、キャラバン隊の行動に非常に協力的であった。

・ 今回のキャラバン隊の活動は、県人会対象の説明会だけでなく、在外公館、マスメディアへの広報等があり、宣伝効果は非常に大きかった。

・ ウチナーンチュ大会は、海外参加者と地元県民との交流の場である。海外と同様、県民に対してももっと広報活動を強化する必要がある。(海外県人会から強い要望)

イ 国内キャラバン

(ア) 第1次国内キャラバン概要（№1）

a 日程（団員2名）

2001年9月19日(水)～9月22日(土) 3泊4日

b 訪問地

東京・横浜・名古屋

c キャラバン業務内容

(a) 説明会

県人会を中心に説明会を開催し、プロモーションビデオの上映とイベントを中心とした最新情報の説明をする。また、帰国県系人に対し情報収集を行うとともに、参加を呼びかけた。

(会次第)

・あいさつ
・プロモーションビデオの上映
・大会概要とイベント最新情報説明
・質疑応答

３地域で説明会を開き、参加者は概ね次のとおりであった。

(参加者)

・東京……20名
・横浜市鶴見区……40名
・名古屋市……40名

(b) 持参広報ツール

・説明会資料
・大会企画書概要
・テーマソングCD
・宣伝用ビデオ
・リーフレット
・大通信
・大会告知チラシ

(日本語・スペイン語・ポルトガル語)

(c)　質問・意見・要望等の状況

－東京－

・　本土キャラバンの時期が遅すぎる。当方は4月の時点で準備していたが、実行委員会事務局に照会しても必要な情報が得られず、何がどうなっているのかわからなかった。

・　全体的な印象として、海外参加者が大会の対象者であり、国内は関係ないという雰囲気が感じられる。

・　前回大会では国内からの参加者はバスの無料乗車を断られた。また、大会参加者優待の観光所で割引が受けられなかったが、今回はどうか。

(答) 海外参加者は渡航費等が高くつくなど、国内参加者とは同列に論じられない要素がある。残念ながら、今回大会も無料乗車は海外参加者が対象となる。

・　前回大会は交通アクセスが良くなかった。バスをチャーターして、すぐに会場に行けるような仕組みを作ったらどうか。

・　屋内で実施するイベントに参加者が入れない場合があるか。

(答) 会場の収容能力には限界があるが、基本的には全イベントに参加できる。

・　アメリカの事件の影響はあるか。

(答) 実行委員会としては、予定通り開催する意向である。

(d)　その他

本説明会においては、琉球新報、沖縄タイムスの記者の取材を受けた。

－横浜市鶴見区－

・　今回のプロモーションビデオは良くできている。

・　鶴見県人会からは役員をはじめ13人参加する予定であるが、キャラバンを機にさらに参加者を募りたい。

その他

今回、鶴見地区において、(財)神奈川県国際交流協会の富本順子氏の協力を得て、主にペルー、ブラジル等の南米出身の県系人が営む商店・飲食店等を訪問し、ポスター、チラシなど大会広報ツールの配布を依頼した。

－名古屋市－

・　ワッペンがない人は、開会式に入れなかったが、今回はどうか。

(答) ワッペンがないケースはさまざまな場合があるが、基本的には参加できるよう取り計らいたい。

・　名古屋事務所に参加者の集約をしてもらうのはどうか。

(答) 基本的には県人会に集約をお願いしたい。

・　大会に参加する手続きが明確ではなく、どのように対応してよいかわからない。結局、県人会の役員等の参加については実行委員会に連絡したが、個々の会員については、各個人で対応するように伝えてある。

・　集約の依頼が実行委員会から届いても、わざわざこちらで文書をコピーして会員に配布しなければならないので、あらかじめ部数をそろえて送ってほしい。

(答) できるだけそのように対応したい。

・　本土在住の県系人は、里帰りの回数など、様々な点で海外とは異なる立場にある。立場の違いに応じた本土県人会の参加のあり方が工夫されるべきだ。

第2次国内キャラバン概要

a (団員2名)

平成13年9月26日～9月28日　2泊3日

b 訪問地

大阪、福岡

c 参加者

沖縄県大阪事務所・・・・・26名

沖縄県福岡事務所・・・・・10名

d 質問・意見・要望等の状況

－大阪－

・　ウチナーンチュ大会は海外参加者が中心だが、国内県系人のことも忘れないでほしい。

・　国内の県人会長も歓迎レセプションに出席させてほしい。

－福岡－

・　路線バスの無料乗車は海外参加者が対象になっているが、国内参加者も対象にできないか。

・　県に国内の県系人について全般的に所掌する部署を設けてほしい。現在は縦割りであまり機能していない。

県人会館での説明会（ブラジル）

説明会（東京）

説明会（ニューヨーク県人会）

ハワイ州知事表敬

ウ　200日前イベント

ウチナーンチュ大会開催の成功に向け、大会テーマソング『片手に三線を』のミニコンサートや関係各国民俗芸能の披露並びに展示ブースを設置した。

ファーストイベントとして県民及び大会参加者に対する開催概要の周知を図るとともに、大会機運を醸成するため開催した。

(ア) 名　称：『第3回世界のウチナーンチュ大会
　　200日前イベント』
　～未来－ちゅら夢　心にのせて～

(イ) 開催日：平成13年4月15日（日）
　a　セレモニー　　14：00～15：30
　b　展示ブース　　12：00～17：00
　c　配布コーナー　12:00/13:00/16:00

(ウ) 場　所：県庁前県民広場

(エ) 内　容：
　a　ステージアトラクション
　　(a)　琉球國まつり太鼓及びブラジルサンバによるオープニング
　　(b)　実行委員会会長（県知事）あいさつ
　　(c)　ディアマンテスによる大会テーマソングの披露（ミニコンサート）
　　(d)　関係各国の民俗芸能の演舞
　　・サンバ（ブラジル）
　　・ハワイアンフラダンス
　　・アルゼンチン民族ダンス
　　・ボリビア民族ダンス
　　・メキシコ民族ダンス
　　・パラグアイ民族ダンス
　　・コロンビア民族ダンス
　　・ペルー民族ダンス
　　・スペイン民族ダンス
　　・ラテンダンス（4カ国合同）
　　-ﾊﾟﾗｸﾞｱｲ･ﾎﾞﾘﾋﾞｱ･ｺﾛﾝﾋﾞｱ･ﾒｷｼｺ-

　b　展示ブース
　　(a)　今大会宣伝ビデオの放映
　　(b)　歴代大会の記録写真の展示
　　(c)　パネル展示（第3回大会の開催概要等）

　c　その他
　　(a)　苗木の配布（WUB協力　キンレイジュの苗木５００鉢）
　　(b)　風船の配布(シンボルマーク入り風船1,000個)
　　(c)　のぼりの露出（１００本）
　　(d)　参加動員数　1,000名

【出演団体】
・ディアマンテス
・琉球國まつり太鼓
・ｵ･ﾍﾟｲｼ･ｷﾘ･ﾀﾞ･ｺｻﾞ（ﾌﾞﾗｼﾞﾙ）
・ﾎｸｵﾗ･ｷｼｬﾊﾞ代表（ﾊﾜｲ）
・ﾘｶﾙﾄﾞ&ﾕﾐ（ｱﾙｾﾞﾝﾁﾝ、ｽﾍﾟｲﾝ）
・ﾋﾞﾙﾏ、ｶﾙﾒﾝ、ｵﾙﾃﾝｼｱ（ﾎﾞﾘﾋﾞｱ）
・ﾌｧﾝ･ｶﾙﾛｽ、ﾄﾞﾛﾚｽ（ﾒｷｼｺ）
・ミルタ（ﾊﾟﾗｸﾞｱｲ）
・ｻﾕﾘ、ﾐﾘｱﾝ（ｺﾛﾝﾋﾞｱ）
・堀川カロリーナ（ペルー）
・パティ＆ハビエル（ペルー）

大会200日前記念イベントでは、実行委員会会長あいさつや、テーマソングの合唱をはじめ、異国情緒あふれる華やかなステージが繰り広げられた。また、会場では展示コーナーの設置、大会シンボルマーク入りの風船や苗木の配布が行われ、最後は、参加者と会場が一体となり、カチャーシーを踊って本大会への成功を誓った。

エ　100日前イベント

大会開催100日前を記念して、ジュニアスタディツアー参加者との交流、クリーンアップキャンペーン活動の出発式を中心にセレモニーを行い、参加者全員による「100日前宣言」を力強く発表した。

(ア) 名　称：『第3回世界のウチナーンチュ大会
　　100日前イベント』

(イ) 開催日：平成13年7月24日（火）
　　①ステージ　　10:00～12:00
　　②展示コーナー　10:00～18:00

(ウ) 場所：パレットくもじ前広場

(エ) 内容：
　a　ステージアトラクション
　　(a) オープニングセレモニー
　　・実行委員会会長（県知事）あいさつ
　　・ファンファーレ
　　・100日前宣言

　　(b) スタディツアー参加者との交流
　　・事務局長あいさつ
　　・ジュニアスタディツアー参加者によるアトラクション

　　(c) クリーンアップキャンペーンの実施

・実行委員会副会長（沖縄観光ｺﾝﾍﾞﾝｼｮﾝﾋﾞｭｰﾛｰ理事長）出発宣言
・クリーンアップキャンペーン活動展開

b　展示コーナー、他ディスプレイ
(a) 北米・南米キャラバン隊取材写真展示
(b) パネル展示（第3回大会の開催概要等）
(c) プロモーションビデオ、キャラバン隊取材ビデオ放映
(d) のぼり旗（100本）

c　チラシ配布
(a) ミス沖縄、事務局によるチラシの配布
(b) 参加動員数　250名

【出演団体】
・ 那覇市立城東小学校マーチングバンド
「100日前宣言文」
（全員）
未来　ちゅら夢　心にのせて
父母のふるさと　沖縄に
世界の架け橋　作るため
ウチナーンチュが集います
万人（ウマンチュ）こぞって迎えましょう
（海外）
はいさいふるさと
はいさい美ら島
（沖縄）
めんそーれふるさとへ
めんそーれ沖縄へ

a　ステージ
・津波古獅子蹴跳によるオープニング
・実行委員会会長（県知事）あいさつ
・大会成功のカギ授与
・空手＆古武道演舞
・ブラジル・サンバダンス
・英語の歌・ミニライブ
・ハワイフラダンス
・南之島
・旗頭によるガーエー

b　その他
大会告知チラシ配布

(オ) 参加動員数　　500名

【出演団体】
・佐敷町津波古獅子蹴跳
・剛柔流国際空手古武道連盟
・オ・ペイシ・キリ・ダ・コザ（サンバ）
・村山英語教室のみなさん
・レイナニ・グループ（ﾌﾗﾀﾞﾝｽ）
・安里南之島保存会
・若狭旗頭
・泉崎旗頭

オ　20日前イベント

大会開催まであと20日と迫り、広く県民にウチナーンチュ大会の開催を周知徹底し、積極的参加を呼びかけた。また、県内各マスコミを通して、国内外から参加する世界のウチナーンチュを快く迎える歓迎の雰囲気を醸成し、県民の大会への機運を高めた。

(ア) 名　称：『第3回世界のウチナーンチュ大会
20日前イベント』
～盛り上げよう 迎えよう暖かちむぐくるで～

(イ) 開催日：平成13年10月12日（金）
17:30～19:30

(ウ) 場　所：パレットくもじ前広場

(エ) 内　容：

200日前イベント

100日前イベント「100日前宣言」

20日前イベント「大会成功のカギ授与」

2　実施本部運営

(1) 組織・体制

ア　基本的考え方

大会の規模が大きいこと及び国内外のＶＩＰ対応、海外県人会等との連携等が必要となることから、県職員を主体とした「第３回世界のウチナーンチュ大会実施本部」を、平成１３年９月２１日に設置した。

実施本部事務局は、部及び班で構成し、既存の実行委員会事務局の体制を踏まえた機能型の組織とした。指揮系統は本部長（知事）、副本部長（副知事ほか８名）、統括部長（文化環境部長）、事務局長（実行委員会事務局長）、事務局次長（３名）、部・班（４部１０班）とした。

前回大会に比べて班、係の設置に当たって特に強化されたのは、広報部門である。総務部広報班の下に空港、県庁、ホテルインフォメーション係を置き、大会参加者及び一般に対するインフォメーション機能を充実させた。

イ　組織図、動員計画等

表3

ウ　動員体制について

各部長・班長については、主に事務局及び国際交流課職員で対応とし、その他班員については県各部局、教育庁の主査以下の職員を動員した。ただし、接遇班接伴係員については、海外のＶＩＰの接遇であるため副参事クラスを充てた。

大会開催期間中の動員数及び大会前後に配置された空港、ホテルインフォメーション係員数を合わせた動員総数（延べ人数）は５３５名となった。

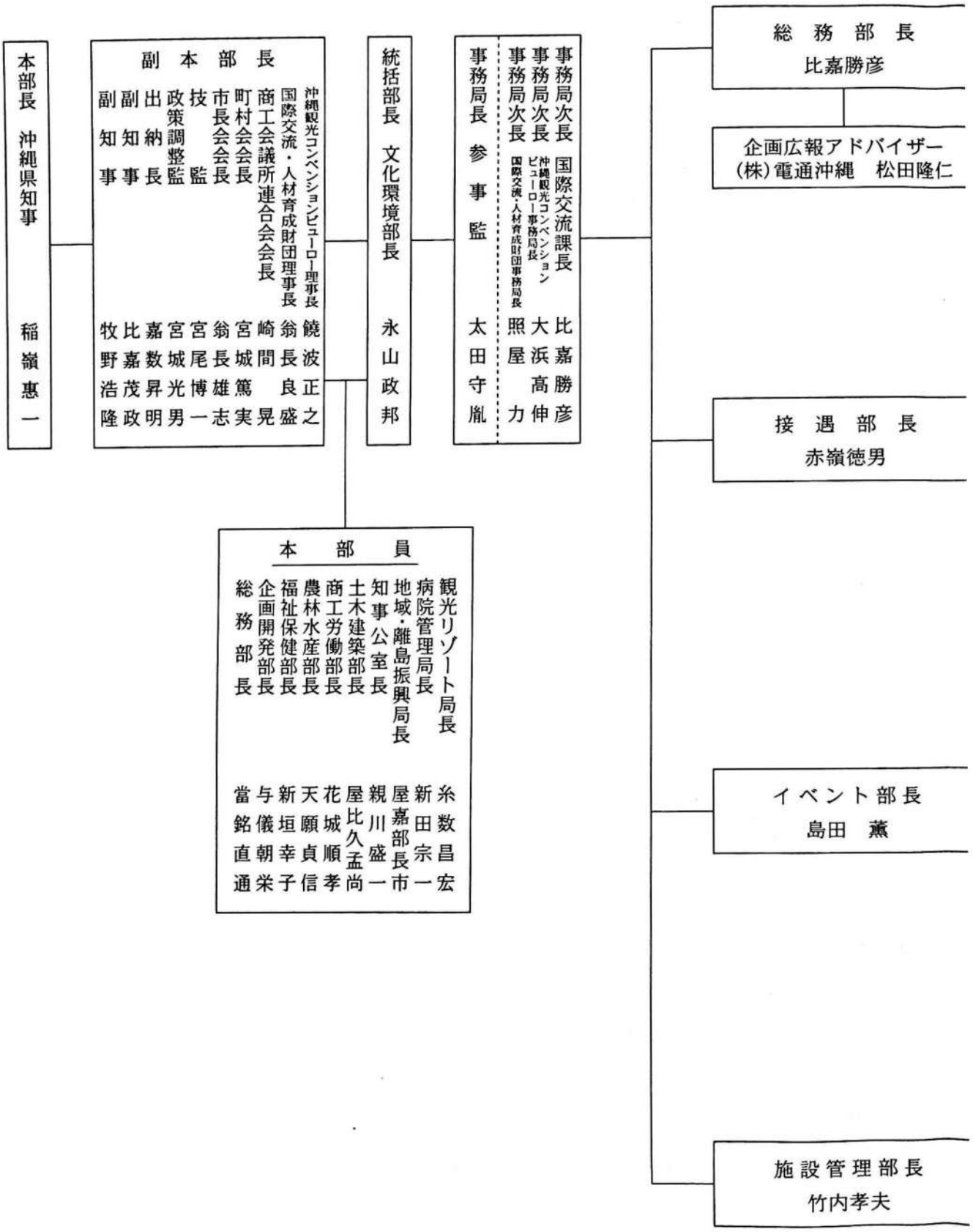
ボランテイアは個人の部（一般及び通訳ボランテイア）で２８６名、団体の部で１３団体５２２名が大会の運営に協力した。

エ　動員職員及びボランテイアに対する説明会等

実施本部の運営、業務内容を明確にするため、実行委員会事務局は総務、招待、イベント、広報の各班において業務マニュアルを作成し、動員職員及びボランテイアの手引きとした。

動員職員に対しては１０月中旬と下旬の２回、説明会を実施した。ボランテイアへの説明会は１０月中旬に１回実施した。また、大会直前には動員職員及びボランテイアに対する現場説明会（沖縄コンベンションセンター主会場）を実施した。

第3回世界のウチナーンチュ大会実施本部組織図



		11/01(木)	11/02(金)	11/03(土)	11/04(日)
総務班長 国吉 薫 副班長 平 康司	総務係	3	3	3	3
	通訳・翻訳係	5	5	5	5
	救護係	4	6	6	7
	警備防災係	2	2	2	2
	食糧係	2	2	2	2
	備品・遺失物係	2	2	2	2
	交通輸送係	11	4	5	5
ボランティア班長 喜名秀男 副班長 山城貴子	通訳ボランティア係	1	1	1	1
	一般ボランティア係	1	1	1	1
広報班長 大城正美 副班長 知念弘光	広報係	9	9	8	9
	空港インフォメーション係				
	県庁インフォメーション係	2	2	1	1
	ホテルインフォメーション係	6	6	6	6
接遇班長 嘉手苅康夫 副班長 古波蔵寿勝	接遇係	7	2	4	4
	案内係	8	3	3	3
	接伴係	21	13	12	13
受付班長 石川洋幸 副班長 友利陽子	受付係	35			5
	クローク係	3			3
会場案内班長 大山 修 副班長 諸見里均 JV班長 小橋川哲	会場案内係	18	4	4	6
	会場整理係	4	2	3	4
	会場連絡係	2			2
式典班長 狩俣栄人 JV班長 安井滋雄	記念植樹係				
	前夜祭パレード係				
	開会式係				
	フィナーレ係				1
イベント1班長 山城憲一郎 JV班長 奥住英二	ワールドバザール係	2	2	2	2
	ウチナーンチュ交流祭係	2	2	2	2
	世界のウチナーンチュ歴史と未来展係	2	2	2	2
	ワールドビジネスフェアー係	2	1	2	2
	ウチナーンチュシンポジウム係		3	3	
	ミュージックフェスト係			6	
イベント2班長 大城 司 JV班長 比嘉吉治	沖縄伝統芸能祭係		2	2	
	沖縄郷土劇場係		2		
	ワールド学生会議係		4	1	4
	交際交流ゲートボール係			4	3
	空手道・古武道交流祭係		6	4	
管理班長 仲宗根勉 副班長 大見謝出	沖縄コンベンションセンター係	2	2	2	2
	県立武道館係		1	1	1
	奥武山陸上競技場係				
	万国津梁館係	1	1	1	1
	計	157	95	100	104

表3

(2) 会場設営(サイン計画)

サイン計画に関しては、第2回大会を参考にし、統一したデザインプランで会場設営を行った。また、言語表記に関しては一部を除いて4ヶ国語（日本語、英語、スペイン語、ポルトガル語）で表記した。

制作物

・メインゲートタイトル看板（英文字表記）
・メインゲートタイトル看板（日本語表記）
・サブゲートタイトル看板
　奥武山運動公園入口看板（アーチ）
・多目的広場エアーアーチ
・会場総合案内図立看板
・各会場ディリースケジュール立看板（展示棟）
・各会場ディリースケジュール立看板（劇場棟）
・各会場ディリースケジュール立看板（会議棟）
・受付案内看板
・オープニングセレモニー受付配置（海外国別受付）
・オープニングセレモニー受付配置
　（総合案内・国内招待受付・ＶＩＰ受付）
・既設サイン利用1
・既設サイン利用2
・既設サイン利用3
・展示棟入口ライン・大会マーク
・展示棟入口フラッグ式サイン
・会議棟入口ライン・大会マーク
・会議棟入口フラッグ式サイン
・会議棟内吊り看板
・横断幕
・誘導サイン
・劇場棟入口ライン・大会マーク
・劇場棟入口フラッグ式サイン
・国道58号コンベンション入口歩道橋横断幕
・誘導立看板
　〃 会場案内
　〃 駐車場まであと300m
　〃 駐車場マーク入り
・誘導サイン（タクシー乗り場）
・誘導サイン（シャトルバス乗り場）
・シャトルバス乗り場サイン
・駐車場誘導サイン（来賓）
・駐車場誘導サイン（関係者）
・駐車場誘導サイン（大会役員）
・駐車場誘導サイン（出店業者）
・駐車場誘導サイン（一般）
・満車表示立看板
・シャトルバス横断幕
・シャトルバス・フロントサイン
・会場内案内板
　〃 警備員詰所
　〃 救護室
　〃 展示場本部
　〃 プレス室
　〃 関係者用ロッカー
　〃 県職員・ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱｽﾀｯﾌ休憩所
　〃 会議場本部
・コインロッカー案内サイン
・会場内案内板（テント吊り下げ）
　〃 警備
　〃 救護
　〃 放送
　〃 ご休憩所
　〃 スタッフ弁当配布所
　〃 迷子
　〃 運転手休憩所
　〃 実施本部

(3) 交通・輸送・警備対策

ア　交通・輸送関係

（ア）交通・輸送対策

会場と臨時駐車場の間を、臨時シャトルバスを運行させ会場周辺の自家用車による交通渋滞を回避させた。また、大会初日の那覇市内のホテルでの歓迎レセプションへ参加する県外参加者の会場（コンベンションセンター）から那覇への送迎を行った。また、首里城における伝統芸能祭では、海外参加者宿泊ホテルから首里城公園への送り出しを行った。

今回、那覇会場（奥武山運動公園）での開催イベント実施に伴う那覇軍港の臨時駐車場借用については、那覇防衛施設局及び在日米陸軍司令部の協力により、使用が可能となった。

（イ）シャトルバス運行概要

a　実施日時

11月1日（木）～11月4日（日）10時～21時

b　実施場所

宜野湾会場／会場　各臨時駐車場

那覇会場／会場　那覇軍港

c　実施運行ルート

ルートA

コンベンションセンター前 ←
↓
宜野湾市立体育館
↓
真志喜バス停（那覇向け）
↓
真志喜バス停（名護向け）

※牧港高架橋下をUターン

ルートB

コンベンションセンター前 ←
↓
宜野湾市立体育館
↓
沖縄ハイツ横臨時駐車場
↓
牧港漁港臨時駐車場

ルートC

コンベンションセンター前 ←
↓
宜野湾市立体育館
↓
ダイコー沖縄臨時駐車場

d　案内対応

シャトルバスのスムーズな運行を行うため、交通輸送係員をバス停やその周辺に配置し、案内、通訳対応を行った。

（ウ）臨時駐車場

臨時駐車場については過去大会を参考とし、会場周辺において最大限の駐車スペースについて、可能な限りその確保に努めた。

その結果、会場周辺に約4,300台の駐車場が確保できた。その内、会場へ徒歩5分圏内に臨時駐車場約2,400台の確保ができた。

a　駐車場場所

コンベンションセンター周辺

①コンベンション施設駐車場（442台）

②宜野湾トロピカルビーチ（180台）

③宜野湾市立体育館（350台）

④宜野湾市営野球場（50台）

⑤沖縄ハイツ横（200台）

⑥宜野湾市土地開発公社所有地（2000台）

⑦ダイコー所有地（600台）

⑧牧港漁港（450台）

合計／4,272台

那覇会場（奥武山運動公園）

①奥武山運動公園（590台）

②那覇軍港（2000台）

合計／2,590台

b　駐車場の区分コンベンション周辺駐車場に関して、コンベンション施設内と宜野湾トロピカルビーチ、宜野湾市立体育館（一部）を関係者用とし、その他の駐車場を一般駐車場とた。

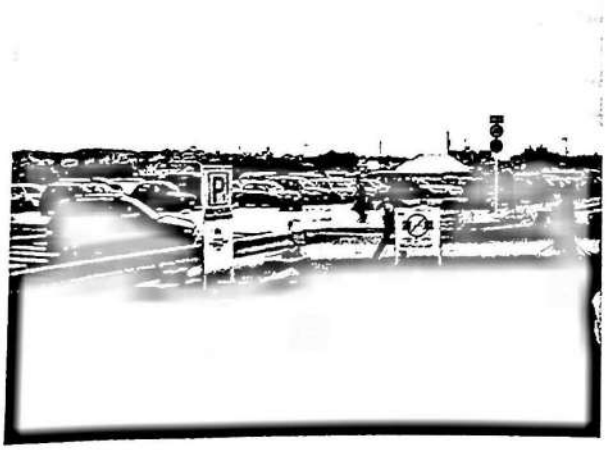
c　交通誘導体制

宜野湾警察署の指導により駐車場警備員の配置及び誘導体制を徹底した。

d　各駐車場の稼働率

コンベンションセンター周辺の各駐車場の稼働率は、初日、２日目は約５０％で３日、４日目はほぼ１００％であったが、沖縄ハイツ横と宜野湾市土地開発公社所有地に集中した。

那覇会場においては、１１月３日は３０％の稼働率で１１月２日･１１月４日は１０％の稼働率であった。



イ　警備関係

民間警備会社に業務を委託し、会場内及び臨時駐車場の警備及び交通誘導を行った。臨時駐車場は、アルバイト要員も動員して行った。また、宜野湾警察署においては、期間中の会場警備と交通規制等を行った。

（ア）警備実施会場

a　コンベンション会場

警備期間：１０月３１日～１１月４日

・駐車場警備（延べ136人）

・会場警備（延べ12人）

・夜間警備（延べ15人）

・アルバイト誘導員（延べ74人）

b　那覇会場

警備期間：１１月２日～１１月４日

①駐車場警備（延べ9人）

②アルバイト誘導員（延べ40人）

（イ）警備等の状況

宜野湾市海浜公園・多目的広場で開催するワールドバザールへの出店業者の為、10月31日～11月4日の間の夜間警備を実施し、期間中の事故等の問題は発生しなかった。

a　各駐車場警備

・１日目

沖縄ハイツ敷地内の駐車場に、利用者以外の車両の駐車車両があり、施設職員から指摘を受けすぐに対処、ハイツ入口に常駐で警備員を配置した。参加者が手配した大型バスの入構はあったが混乱なく一日目を終了した。

・２日目

牧港漁港の利用車両数は20台、ダイコー沖縄・臨時駐車場は420台、その他の駐車場はほぼ満車の状況であった。

・３日目

早朝からタクシー利用の来場者があり、空席のタクシーが構内に並ぶ状況が発生したので排除した。一般入場者のマイカー等がハイツ横駐車場に集中した為、200mの車両の列が出来たので、宜野湾署からの指導のもと拡声器にて他の駐車場を案内した。大型バスの入構があり歩行者の誘導に注意した。

・4日目

最終日と日曜日が重なり、駐車場は終日満車状態であった。車両と歩行者の事故防止に注意し誘導にあたった。また、宜野湾署員とパトカーの巡回で事故もなく終了した。

b　コンベンション会場

・1日目～4日目

多目的広場会場には警察官詰め所を設置し、宜野湾警察署員による会場の会場警備が実施された結果、混乱もなく全日程を終了することが出来た。

（ウ）警察実施本部の体制（宜野湾警察署）

a　コンベンション会場

警察官動員数（4日間延べ269人）

・1日目:実施本部常駐・会場雑踏警備／58人
交通規制／8人

・2日目:実施本部常駐・会場雑踏警備／53人
交通規制／8人

・3日目:実施本部常駐・会場雑踏警備／53人
交通規制／10人

・4日目:実施本部常駐・会場雑踏警備／69人
交通規制／10人　パトカー／3台

b　那覇会場

那覇会場は警察署の協力は要請しなかったが、特に問題は発生しなかった。

ウ　旅行業務関係

（ア）海外、国内からの大会参加者の航空座席、ホテルの確保等の旅行業務については、その業務遂行が複雑かつ高度な専門的オペレーションを必要とし、かつ対象地域が世界28ヶ国、2地域にわたっていることから、別紙の図（「旅行業務フロー」）に示すとおり、沖縄県旅行業共同組合（8社で構成）に業務委託し、業務の円滑な遂行を図った。

（イ）宿泊関係

大会参加者の宿泊については、那覇市をはじめ本島中南部の各ホテルに大会参加者が宿泊する客室の提供を求めたところ、28のホテルや旅館で合計約2,500人分の客室をあらかじめ確保することができた。

実際には大会参加者約4,000人のうち半数の2,000人がホテルや旅館等に宿泊し、残りは親戚や知人宅に宿泊したようである。

(4)　救護対策

救急処置及び急病等の対応に当たる救護班員（看護婦）の配置については、医療法人球陽会海邦病院の全面的な協力を頂いた。同病院に看護婦派遣の要請を行ったのは、同病院が総合病院であり、かつ大会会場に最も近距離（徒歩約5分）に位置することによる。

国際交流ゲートボール大会や空手道・古武道交流祭が開催された奥武山運動公園における救護班員の配置に関しては、県立南部病院看護職員を動員した。

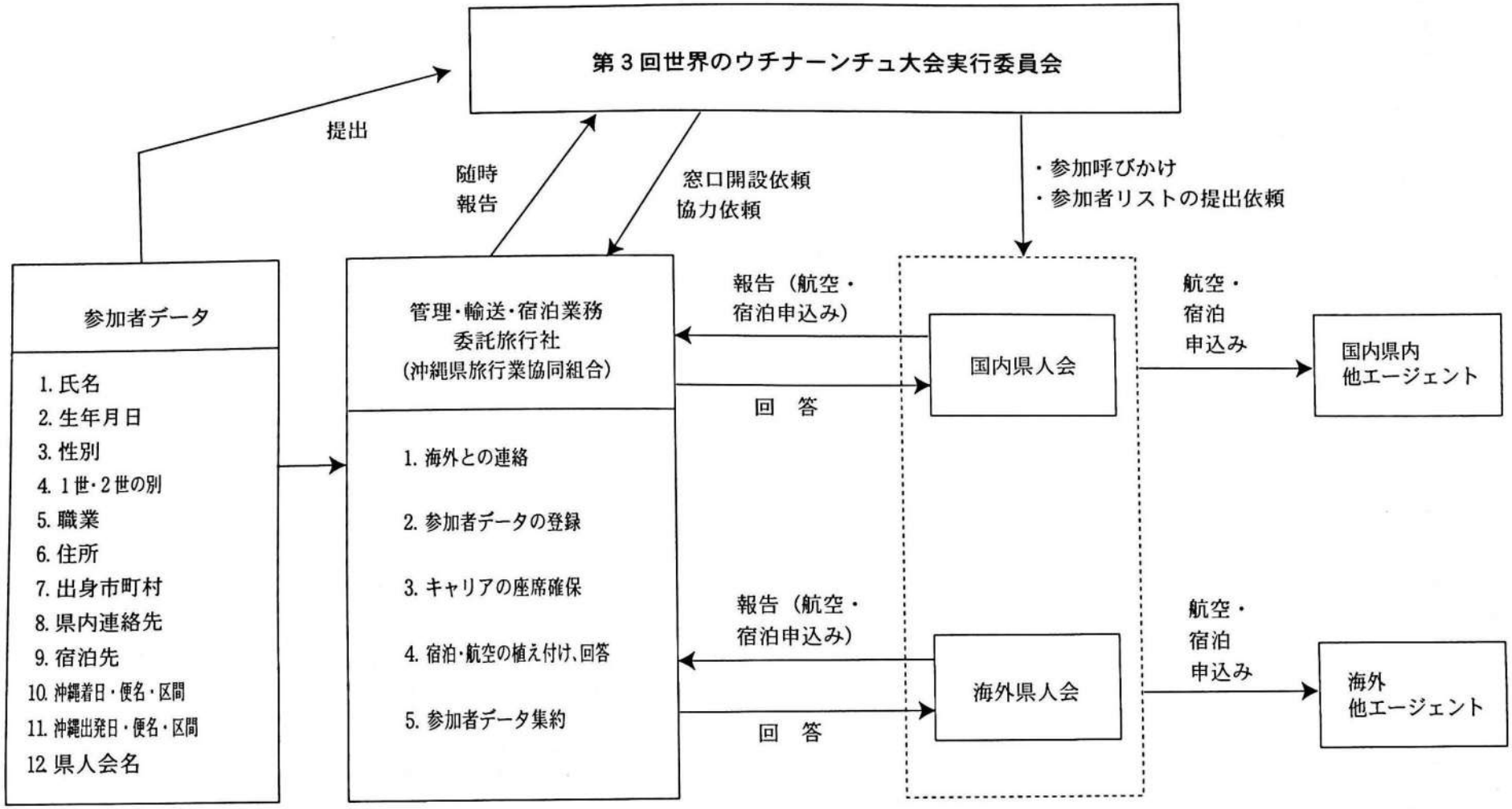
大会主会場においては、展示棟内に救護所本部、多目的広場に救護所を配置した。その他の会場においては、看護婦は配置せずイベント担当職員が救護関係の連絡対応に当たった。

また、救急時の患者の搬送等の事態に備えて救護車1台、運転手1名を配置した。

期間中の患者処置状況については、下記のとおりである。

	11月1日	11月2日	11月3日	11月4日	計
患者処置人数	7	5	3	4	19
うち病院移送件数	0	0	0	0	0
うち入院件数	0	0	0	0	0

第３回世界のウチナーンチュ大会参加者集約・旅行業務フロー



(5) 広報活動

ア　インフォメーションデスク運営

実施本部広報係りの下に空港・県庁・ホテルインフォメーション係りを置き、大会参加者及び一般に対するインフォメーション機能を充実させた。

〇実施期間：①県庁インフォメーションデスク…10/25～10/30（土・日は除く）
②空港インフォメーションデスク…10/25～10/31、11/5
③コンベンションセンター…11/1～11/4
④ホテルインフォメーションデスク…10/28～11/5（市内6ヵ所）

	業務事項	場所	内容	対応マニュアル	参照資料
1	イベント案内	全ｲﾝﾌｫﾒｰｼｮﾝﾃﾞｽｸ	各イベントの紹介	・イベントの日程、時間、場所等の概要を案内する。 ・各イベント入場の案内・関連資料の配布。	大会パンフレット 大会ガイドブック 各イベント情報 ﾐｭｰｼﾞｯｸﾌｪｽﾄ入場券
			市町村主催イベントの案内	・市町村イベントの情報についての紹介や、各市町村担当者に問い合わせる。	市町村イベントの連絡一覧表
2	イレギュラー対応	・県庁 ・空港 ・ｺﾝﾍﾞﾝｼｮﾝｾﾝﾀｰ	・参加者リストの閲覧 ・ワッペンの再交付	・リストの閲覧については、県庁４Fに案内する。	・ワッペン予備 ・参加者リスト
				・ワッペン再交付については、別紙ワッペンの交付についてのマニュアルを参照	
3	駐車場の案内	・県庁 ・ｺﾝﾍﾞﾝｼｮﾝｾﾝﾀｰ	・駐車証の発行 （会議出席者用）	・ウチナーンチュシンポジウム出席者に駐車証を発行する。参加者用ワッペンを確認し、駐車証に利用日を記入する。	・会議出席者の名簿
			・一般参加者の駐車場案内	・一般参加者用駐車場の案内及び、シャトルバスの紹介	・駐車場マップ
4	駐車場の案内	全ｲﾝﾌｫﾒｰｼｮﾝﾃﾞｽｸ	目的地までの交通案内 ①バス　②タクシー ③レンタカー ・シャトルバス案内	※海外参加者にはバス無料乗車の確認をする	・県内バス路線マップ ・レンタカー営業所
				・レンタカーは営業所の紹介、ホテルでの問い合わせの場合はフロントに引き継ぐ。	
				大会事務局が運行するシャトルバスについての案内 ①ダイヤ　②路線　③乗車場所	シャトルバス運行表
5	宿泊予約及び航空便の変更	県庁4F 全ｲﾝﾌｫﾒｰｼｮﾝﾃﾞｽｸ	参加者からの問い合わせに関すること	・飛行機・宿泊に関してはお客様が予約した各担当旅行社に問い合わせるよう案内する。 ・宿泊予約を大会事務局で済ませた方は、事務局宿泊担当に連絡する。	大会事務局
6	沖縄観光情報	全ｲﾝﾌｫﾒｰｼｮﾝﾃﾞｽｸ	沖縄観光施設・ショッピングなどに関すること	各デスクに配置されている観光パンフレットを参考に案内する。	「美ら島」 ｺﾝﾍﾞﾝｼｮﾝﾋﾞｭｰﾛｰ発行
7	デスク設置場所等現地周辺情報	那覇空港	館内施設、周辺情報の問い合わせに備える。	・空港では、出迎え客や到着口で混雑が予想されるので、大会参加者をスムーズに誘導する。 ・空港内施設の案内、バス停・タクシー乗り場の案内。	空港館内パンフレットの準備
		各ホテル	館内施設、周辺情報の問い合わせに備える。	・各ホテルの館内施設、周辺情報の問い合わせも予測されるので、業務初日にホテルフロント担当者と調整をする。事前に館内パンフレット、周辺情報をもらい案内に役立てる。 ・予約については、ホテルのインフォメーションまたはフロントへ案内する。 ・チェックイン、チェックアウトの際のアシスト（通訳ボランティア）	各ホテル制作の施設資料、周辺地図等
8	沖縄観光情報	全ｲﾝﾌｫﾒｰｼｮﾝﾃﾞｽｸ	・遺失物・拾得物、苦情、迷子台帳の記入 ・各種問い合わせ内容に対応	・遺失物、拾得物、苦情、迷子台帳に記入がある場合は、その内容を次の担当者に引き継ぐ ・病院、金融、警察などの案内 ・電話番号、天気予報	電話帳

※場所名は、次のように省略　県庁インフォメーションデスク→県庁、空港インフォメーションデスク→空港、コンベンションセンターインフォメーションデスク→コンベンション、ホテルインフォメーションデスク→ホテル

3　事業収支

(1) 平成12年度　第３回世界のウチナーンチュ大会実行委員会　歳入歳出決算

ア　歳入の部

単位：円

科　目	当初予算額	収入済額	過不足額	説　　明
負担金	40,420,000	31,420,000	▲9,000,000	県負担金
協賛金	1,000	0	▲1,000	
寄付金	1,000	0	▲1,000	
雑　入	0	7,533	7,533	普通預金金利
計	40,422,000	31,427,533	▲8,994,467	

イ　歳出の部

単位：円

科　目	当初予算額	増減額	予算現額	支出済額	予算残額	説明
共済費	244,000	▲10,000	234,000	233,860	140	社会保険料、労働保険料
賃金	1,875,000	▲328,000	1,547,000	1,536,057	10,943	賃金給与(2名)
報償金	0	650,500	650,500	650,500	0	ロゴマーク・キャッチフレーズ選定委員への給与
報償金	0	278,500	278,500	278,500	0	
賞賜金	0	372,000	372,000	372,000	0	採用作品への賞金
旅費	13,346,000	▲12,433,000	913,000	911,379	1,621	
普通旅費	4,130,000	▲3,726,000	404,000	403,817	183	後援・協賛依頼(東京)
費用弁償	0	130,000	130,000	129,220	780	ロゴマーク・キャッチフレーズ選定委員への旅費
特別旅費	9,216,000	▲8,837,000	379,000	378,342	658	海外PR(カナダ)
需用費	5,140,000	705,033	5,845,033	5,831,565	13,468	
食糧費	650,000	▲365,000	285,000	284,563	437	ロゴマーク・キャッチフレーズ選定委員の昼食代
消耗品費	1,022,000	650,033	1,672,033	1,660,413	11,620	事務用品、印鑑
印刷製本費	3,468,000	▲90,000	3,378,000	3,377,619	381	fax・コピー代
修繕費	0	510,000	510,000	508,970	1,030	LAN配線料
役務費	1,084,000	1,031,000	2,115,000	2,057,778	57,222	
通信運搬費	1,084,000	711,450	1,795,450	1,749,918	45,532	後納郵便料金、電話料
広告料	0	283,500	283,500	283,500	0	新聞掲載費
手数料	0	14,000	14,000	2,310	11,690	実行委員会会場録音料
筆耕翻料訳	0	22,050	22,050	22,050	0	賞状宛名書き
委託料	15,784,000	2,840,000	18,624,000	18,620,484	3,516	ポスター、リーフレット製作委託
使用料及び賃借料	2,749,000	▲1,550,000	1,199,000	1,179,656	19,344	パソコン・プリンター使用料
備品購入費	200,000	100,000	300,000	285,726	14,274	デジタルカメラ、ホワイトボード等
計	40,422,000	▲8,994,467	31,427,533	31,307,005	120,528	

歳入決算総額	31,427,533円
歳出決算総額	31,307,005円
歳入歳出差引額	120,528円
実質収支額	120,528円
＝次年度繰越額	

(2) 平成13年度　第３回世界のウチナーンチュ大会実行委員会　歳入歳出決算

ア　歳入の部

単位：円

科　目	当初予算額	補正額	予算現額	決算額
負担金	344,000,000	0	344,000,000	344,000,000
協賛金	10,000,000	23,501,000	33,501,000	33,501,000
寄付金	1,000	5,842,033	5,843,033	5,843,033
繰越金	120,528	0	120,528	120,528
雑　入	1,000	1,553,487	1,554,487	1,554,487
計	354,122,528	30,896,520	385,019,048	385,019,048

※本会の財源は、県負担金、市町村・企業等協賛金及び、民間寄付金より賄われており、また本大会が平成１３年度宝くじ共催事業として認定され沖縄県に対し１３，０００千円の負担金交付が行われた。

イ　歳出の部

単位：円

科　目	当初予算額	増減額	予算現額	決算額	予算残額	説明
報　酬	2,934,000	▲2,934,000	0	0	0	
共済費	1,224,000	▲ 553,707	670,293	670,293	0	賃金社会保険料
賃金	5,612,000	▲ 931,570	4,680,430	4,680,430	0	事務補助要員
報償費	6,925,000	4,676,676	11,601,676	11,601,676	0	
報償金	3,000	636,401	639,401	639,401	0	
賞賜金		10,962,275	10,962,275	10,962,275	0	大会記念品
旅費	37,961,000	263,524	38,224,524	38,224,524	0	
普通旅費	921,000	489,643	1,410,643	1,410,643	0	関係機関への協力依頼出張
費用弁償	1,032,000	1,033,216	2,065,216	2,065,216	0	ボランティア交通費
特別旅費	36,008,000	▲1,259,335	34,748,665	34,748,665	0	海外招待者旅費一部負担
需用費	9,564,910	9,605,576	19,170,486	19,170,486	19,172785 0	
食糧費	4,470,000	3,085,015	7,555,015	7,555,015	0	委員会開催経費、大会弁当
消耗品費	1,757,910	1,965,535	3,723,445	3,723,445	0	事務消耗品等
印刷製本費	3,337,000	4,552,989	7,889,989	7,889,989	0	大会印刷物、ｺﾋﾟｰ/fax
修繕費	0	4,336	4,336	4,336	0	
役務費	6,117,618	6,339,256	12,456,874	12,456,874	0	
通信運搬費	6,111,618	1,896,244	8,007,862	8,007,862	0	通話料、文書等発送料
広告料	0	3,141,825	3,141,825	3,141,825	0	ラジオ・テレビCM料
手数料	6,000	439,931	445,931	445,931	0	銀行振込手数料
筆耕翻訳料	0	861,256	861,256	861,256	0	文書等翻訳料、賞状筆耕料
委託料	279,144,000	9,851,698	288,995,698	288,995,698	0	ｲﾍﾞﾝﾄ実施委託、招待者管理業務委託
使用料及び賃借料	4,520,000	4,696,768	9,216,768	9,216,768	0	ﾊﾟｿｺﾝ･ﾌﾟﾘﾝﾀｰ、使用料
備品購入費	120,000	▲ 120,000	0	0	0	
計	354,122,528	30,896,520	385,019,048	385,019,048	0	

歳入決算総額	385,019,048円
歳出決算総額	385,019,048円
歳入歳出差引額	0円
実質収支額	0円

(3) 第３回世界のウチナーンチュ大会実行委員会　総収支決算

		総予算額 A	平成１２年度決算額 B	平成１３年度決算額 C	総決算額 D=B+C	差　額 D−A
収入	県負担金	384,420,000	31,420,000	344,000,000	375,420,000	▲ 9,000,000
	協賛金	10,001,000	0	33,501,000	33,501,000	23,500,000
	寄付金	2,000	0	5,843,033	5,843,033	5,841,033
	繰越金	0	0	(120,528)	(120,528)	0
	雑入	1,000	7,533	1,554,487	1,562,020	1,561,020
	合計	394,424,000	31,427,533	384,898,520	416,326,053	21,902,053
支出	事務局運営費	52,900,000	11,697,521	81,131,872	92,829,393	39,929,393
	イベント企画・実施費	232,591,000	3,971,625	219,592,025	223,563,650	▲ 9,027,350
	広報費	71,830,000	15,387,859	53,373,051	68,760,910	▲ 3,069,090
	宿泊・輸送管理費	3,294,000	250,000	28,532,100	28,782,100	25,488,100
	特別招待者旅費	33,809,000	0	2,390,000	2,390,000	▲ 31,419,000
	合計	394,424,000	31,307,005	385,019,048	416,326,053	21,902,053
収支差		0	120,528	▲ 120,528	0	0

Ⅳ　大会実施概要

1　イベント事業の総括

今大会では、イベントの基本方針として、

・海外と沖縄との持続的交流、今後の発展につながるイベントを実施する。
・海外及び県外からの参加者が、イベントを観る側ではなく、イベントに積極的に参画できるような「参加型」のイベントにする。
・海外ウチナーンチュは３世、４世へと世代交代が進みつつあるので、ウチナーンチュのアイデンティティーの確実な継承を図るため、若い世代に重点を置いたイベント内容にする。
・海外と沖縄の経済的なつながりが形成され、相互の発展に結びつくイベントにする。

ことを掲げ、さまざまな分野にわたって16の多彩なイベントを実施した。

開催期間中は好天に恵まれ、１１月初旬の過ごしやすい季節の下、２５万５千人もの多くの人々が大会に参加した。

イベント会場は、沖縄コンベンションセンターのエリアに主なイベントを集中させる一方で、首里城公園（那覇市）、奥武山運動公園（那覇市）、沖縄県平和創造の森公園（糸満市）、万国津梁館（名護市）など、沖縄県内各地での実施を図り、できるだけ多くの県民が参加できるよう配慮した。

今大会のイベントの特徴としては、以下の事項が挙げられる。

①１１月の本大会に先だって、７月にプレイベントとしてジュニアスタディーツアーを実施し、若い世代にウチナーンチュアイデンティティーの継承を図るとともに、本大会へ向けての気運を盛り上げることができたこと。
②若い世代に焦点をあてた内容のイベントを多数実施したこと。
③各地に伝わる郷土の民俗芸能が披露され、また、海外県人会、県内の国際交流団体によるウチナーンチュ交流祭ステージへの参加、フィナーレでの「第九」演奏に県内各地から大勢の市民合唱団が出場するなど、参加型のイベントが実現できたこと。
④女性、帰国県系人、学生など新しいネットワークの広がりを促進できたこと。
⑤ＩＴを活用したビジネスの展開がアピールされるなどワールドワイド・ウチナーンチュ・ビジネスアソシエーション（WUB）を中心とした経済交流のネットワークに広がりが出てきたこと。

多くの海外参加者からは、アメリカの同時多発テロ事件の不安を払拭させ、さまざまなイベントを満喫することができた、との好評を得た。

とりわけ、プレイベントとして実施した「ジュニアスタディーツアー」については高い評価が寄せられ、沖縄県としては、継続して実施し、若い世代へのアイデンティティーの継承に取り組んでいきたいと考えている。

2　各イベントの実施概要

(1)　ジュニアスタディーツアー

ア　総括

海外県系人社会の発展とウチナーネットワークを担う人材育成に貢献する目的で初めて実施されたが、参加者の継続的相互交流あるいはボランティアや各種団体の協力など、数々の成果が得られ、関係各方面から高い評価が寄せられた。

イ　目的（趣旨）

海外県系人社会の児童生徒を沖縄に招待し、沖縄の歴史、文化、自然及び現在の社会状況における体験学習と、沖縄の児童生徒との交流プログラムを通じて、母県・沖縄との絆を深めることにより、県系人社会の発展とウチナーネットワークを担う人材育成に貢献する目的で、第3回世界のウチナーンチュ大会のプレイベントとして実施。

ウ　日程

第1日目　7月23日（月）
「開講式・オリエンテーション・那覇市街地散策・ウエルカムパーティー」
第2日目　7月24日（火）
「クリーンアップキャンペーン参加・歴史学習・首里城見学」
第3日目　7月25日（水）
「平和学習・平和意見交換会」
第4日目　7月26日（木）
「文化芸能体験学習・ビーチレクレーション・キャンプファイヤー」
第5日目　7月27日（金）
「やんばるエコツアー・感想発表会」
第6日目　7月28日（土）
「今帰仁城趾見学・ホームステイ」
第7日目　7月29日（日）
「修了式・さよならパーティー」

大会100日前宣言を行う参加者

エ　内容

(ア) 第1日目　7月23日（月）
「開講式・オリエンテーション・那覇市街地散策・ウエルカムパーティー」
- 知事による激励の言葉や知事との記念撮影が行われた開講式を実施（県立武道館）
- ツアー目的の認識をはじめとするオリエンテーションを実施
- 那覇市観光ボランティア街角ガイド、沖縄尚学高校生及び那覇国際高校生ボランティアの案内のもと、平和通りや壺屋一帯を見学
- カチャーシーで交流を図ったウエルカムパーティーを実施

(イ) 第2日目　7月24日（火）
「クリーンアップキャンペーン参加・歴史学習・首里城見学」
- 第3回世界のウチナーンチュ大会の100日前宣言を兼ねたクリーンアップキャンペーンに参加（パレット久茂地前広場）
- 県立博物館指導主事によるレクチャーや昔の民具体験を通じて、沖縄の歴史を学習
- 首里城を見学

(ウ) 第3日目　7月25日（水）
「平和学習・平和意見交換会」
- 1フィートフィルム鑑賞
- 平和祈念資料館副館長により説明を受けながら、平和祈念資料館、平和の礎、第32軍壕跡、健児の塔、平和祈念堂を見学
- グループディスカッションを通じた平和意見交換会を実施（那覇国際ユースホステル）

ウチナーンチュアイデンティティーを体感

日を追う毎に一体感が育まれた

（エ）第4日目　7月26日（木）

「文化芸能体験学習・ビーチレクレーション・キャンプファイヤー」

・玉泉洞玉国村における三線、エイサー、琉球舞踊、空手の体験学習
・国際リゾートスポーツ科学専門学校生ボランティアによるリードのもと、恩納村名嘉真海岸にてレクレーションを実施
・恩納村ペンションキャロライナにおけるバーベキューおよびキャンプファイヤーの実施

（オ）第5日目　7月27日（金）

「やんばるエコツアー・感想発表会」

・県立博物館学芸課長の指導のもと、二つのコースに分かれ、やんばるエコツアーを実施

Aコース：野生生物保護センター見学、比地大滝沢登り

Bコース：サキシマスオウノキ見学、慶佐次マングローブ見学、ウッパマ海浜散策

・ツアーにおける感想を参加者たちが発表（恩納村ペンションキャロライナ）

（カ）第6日目　7月28日（土）

「今帰仁城趾見学・ホームステイ」

・今帰仁歴史文化センター館長によるガイドのもと、今帰仁城趾を見学
・海外参加者はホストファミリー（親戚が大半を占める）と共にホームステイを実施。

（キ）第7日目　7月29日（日）

「修了式・さよならパーティー」

・参加者の保護者およびホストファミリーの参加のもと、副知事より修了書と記念品（アルバム）が一人ひとりに手渡された修了式を実施
・連絡先を記入した名刺を参加者各々が交換し、カチャーシーで別れを惜しんださよならパーティーを実施

沖縄の自然を肌で感じた参加者（比地大滝）

沖縄の自然を肌で感じた参加者（慶佐次マングローブ）

平和について考える

オ　成果

（ア）明日の国際交流を担う人材育成に貢献

様々な体験学習と交流プログラムを通じて、参加者一人ひとりがウチナーンチュアイデンィティーに触れることができ、ウチナーネットワークの豊かな将来への貴重な布石となった。また、ウエルカムパーティーやさよならパーティーで自発的に行われたカチャーシーは、「イチャリバチョーデー」という沖縄の心をさらに強固なものにしたと考える。

（イ）ウチナーンチュ大会への県民意識の高揚

県内参加者募集への多数の応募を始め、公共施設や学校あるいはボランティアなどの協力を得ることができ、第3回世界のウチナーンチュ大会のプレイベントとして、大会への県民意識の高揚に大きく貢献した。

（ウ）参加者の恒久的相互交流への架け橋

多くの参加者がツアー終了後もメールや手紙のやりとりを行い、交流を続けている。ツアーという短い期間のみならず、終わりなきウチナーネットワークの発展への一つの機運になったと考える。

（エ）参加者の国境なき平和への意識高揚

言葉の壁や文化の違いを越えて、多くの参加者が積極的に意見を出し合い、さらに、自分と違う意見を受け入れる寛大さを学びながら、平和の意味を肌身に感じ取った。

（オ）諸機関との連携

県立博物館や沖縄県平和祈念資料館、そして学校などからツアー実施に向けた、参加者の気持ちを配慮した積極的なアドバイスもあり、諸機関との連携ができた。また、玉泉洞王国村からは民間の観光施設の枠を越えた積極的かつ自発的な協力があった。

カ　協力団体

・那覇市観光ボランティア街角ガイド協会
・那覇国際高等学校国際科
・沖縄尚学高等学校地域国際交流研究クラブ
・沖縄県平和祈念資料館
・琉球古典音楽野村琉統弦会
・国際リゾートスポーツ科学専門学校
・沖縄県立博物館
・沖縄国際大学
・やんばる野生生物保護センター
・国頭エコツアー協議会
・東村エコツーリズム協会
・今帰仁歴史文化センター
・沖縄国際ユースホステル
・県立武道館
・玉泉洞王国村（(株)南都ワールド）
・牧志第一公設市場
・ペンションキャロライナ
・首里城公園
※順不同

(2) 記念植樹

21世紀の初頭に開催される「第3回世界のウチナー大会」を記念するとともに、ウチナーネットワークの拡大発展を祈念し植樹をおこなった。

今回、植樹会場となる沖縄県平和創造の森公園から「沖縄から世界へ、平和の発信。」を基本コンセプトとして実施された。

ア 概要

(ア) 実施日時

10月31日（水）10時20分～11時20分

(イ) 実施場所

沖縄県平和創造の森公園

(ウ) 実施内容

記念植樹が開催された10月31日は、天候に恵まれ、今大会初めて行われる事業であった為、多くのマスコミが会場での取材を行った。

今回の記念植樹では、式典開始の前に地元・糸満市立真壁小学校6年生の全生徒・41名によるハンドベルの伴奏による「さとうきび畑」の合唱で開会し、稲嶺実行委員会会長のあいさつ、山里糸満市長あいさつ、池宮城ペルー沖縄県人会長のあいさつがあり、海外県人会参加者に県立西崎養護学校の生徒の手づくりの「シーサー・ペン立て」の記念品の贈呈も行われ終始和やかな雰囲気で式典を終了した。

今回、植樹に参加された方々は実行委員会会長、糸満市長、県関係者、海外県人会代表者、総勢46名でモンパノキ・タコノキ・ソテツの幼木を植樹した。また、記念植樹後、参加者全員で沖縄県平和祈念資料館や平和の礎の視察も行い全日程を終了した。

イ 作業経緯

今回、21世紀初頭の世界のウチナーンチュ大会を記念して初めての記念植樹を実施した。

各国の県人会長をはじめとする関係者の列席の下、沖縄県平和創造の森公園で関係者の協力により行われた。

植樹者

稲嶺大会実行委員会会長
翁長大会実行委員会副会長
饒波大会実行委員会副会長
山里糸満市長、県関係者、
各国県人会代表

ウ 植樹木の選定

記念植樹に使用する樹種の選定は、会場である沖縄県平和創造の森公園が海浜環境であることから、専門家の意見を参考に環境に適した3種の樹木を選定した。

植樹木

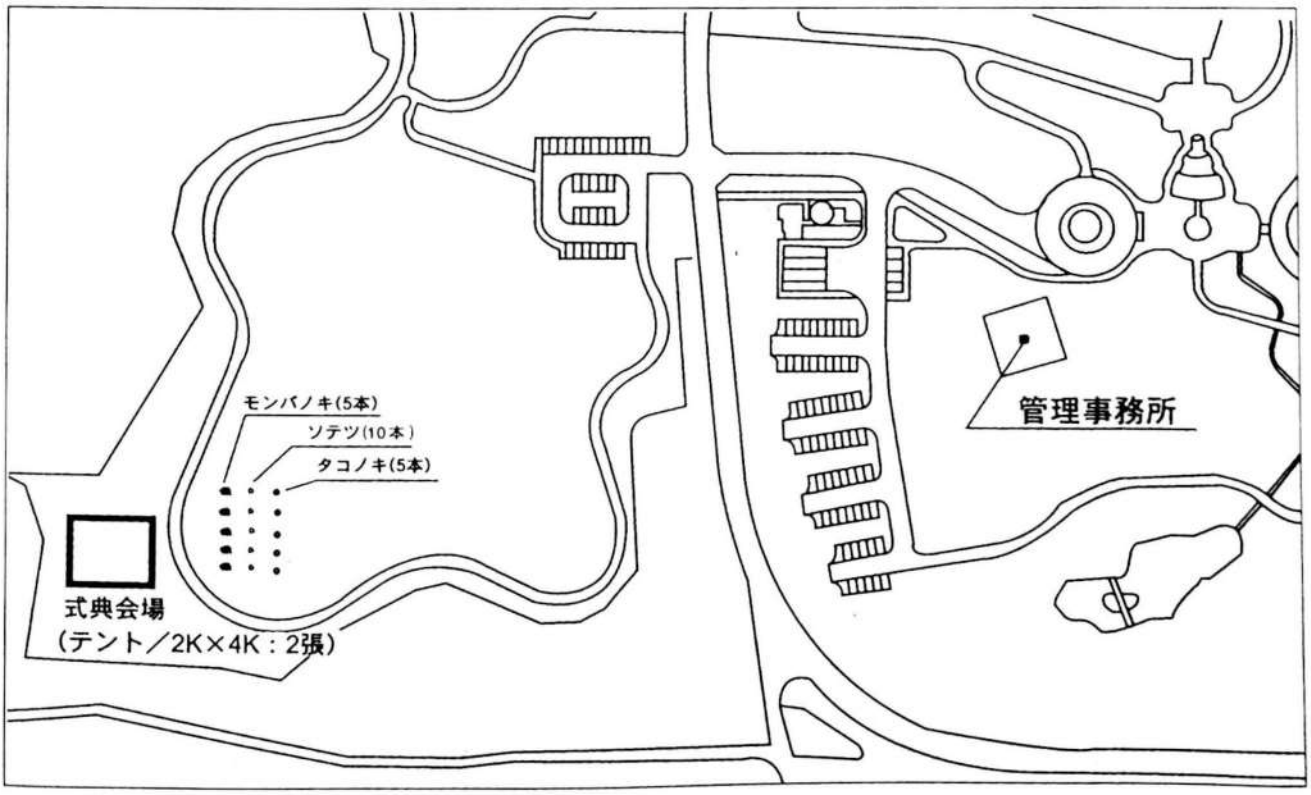
- モンパノキ
- タコノキ
- ソテツ
  (高さ：約70ｃｍ)

エ 式次第

1 開会
2 大会実行委員会会長挨拶
3 開催地代表挨拶（糸満市長）
4 記念品贈呈（西崎養護学校）
5 海外代表挨拶（ペルー沖縄県人会長）
6 記念植樹
7 閉会

記念植樹記録写真

記念植樹位置図



(3) 前夜祭パレード

ア　趣旨

開会式を翌日に控え各国から来県した多数のウチナーンチュ及び大会参加者、その関係者を那覇市のメインストリートである国際通りで県民が暖かく歓迎するとともに、また、各国の民族衣装や舞踊をパレードで沿道の県民に披露することにより本大会成功の機運を盛り上げる。

イ　内容

（ア）開催日時　平成13年10月31日（水）18:00～20:00

（イ）開催場所　那覇市　国際通り（集合／壷屋小学校～解散／県民広場）

（ウ）内容

a　集合場所（壷屋小学校）では、定刻より開会式が行われ、主催者を代表して太田実行委員会事務局長より歓迎の挨拶が方言も交えて行われた。参加者代表としてブラジルから参加の翁長巳酉さんがサンバチームと共に参加者へのエールと県民へのお礼を述べた。特にアメリカからの参加者に対しては、米同時多発テロ事件直後ということもあり、励ましの言葉があった。

b　国際通り交通規制完了後、県警音楽隊を先頭にパレードが出発。

北米、南米を中心に東南アジアや、フランス、ザンビア等の各国県系人たちが、ボランティアの学生が持つプラカードに続いて行進した。

c　本部席前では、稲嶺実行委員会会長（知事）がパレードを出迎えた。参加者は、本部席雛段の来賓者らの前でパフォーマンスを演じ、参加者と歓迎する来賓者らの交歓で大変盛り上がった。沿道の観客も参加者達へ手を振り、或いは拍手で迎えたりと、通りは歓迎ムードに染まった。

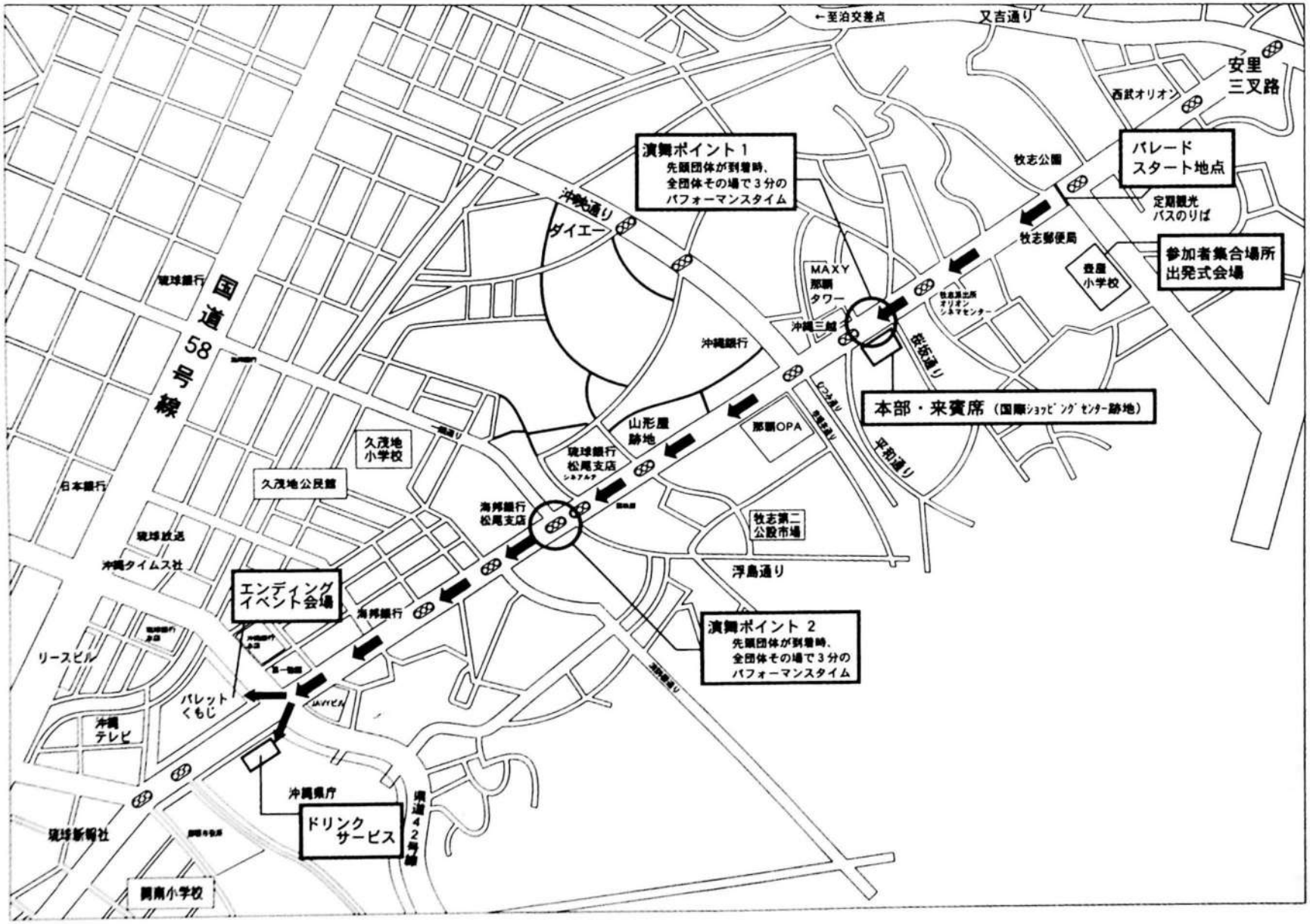
d　パレードは、パレット久茂地前で解散となり参加者らはスタッフの配布する飲み物を手に余韻を楽しみながら、県民広場でそれぞれ語りあっていた。

e　パレット久茂地前広場では、ステージが設けられ県警音楽隊、米国東海岸沖縄県人会、西原高校吹奏楽部、レイナニグループ、琉球國祭り太鼓の各演舞や演奏が行われ、最後に見物客も一緒になってカチャーシーを踊り、パレードのフィナーレとなった。

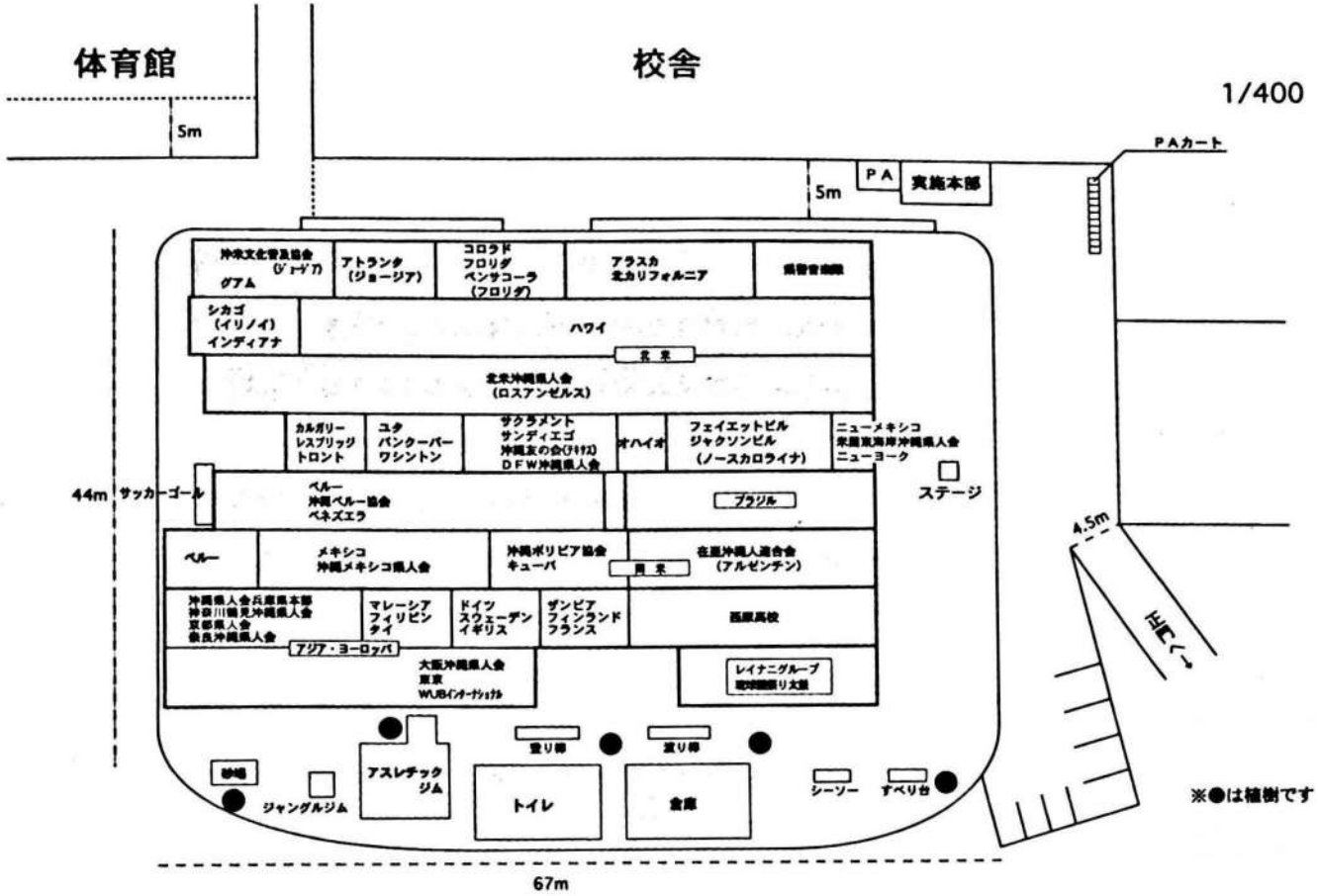
ウ　開催結果

パレードの進行は、スケジュール通りにほぼ進行し、混乱もなく終了。ボランティアの協力もあり、心温まる歓迎が出来たものと思われる。沿道の観客も多数詰め掛け、約7万人の人出があった。パレット久茂地前での解散もスムーズに行われ、ステージも多くの見物客でにぎわった。

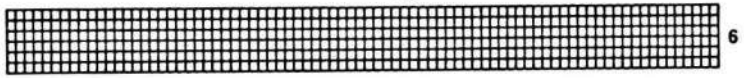
前夜祭パレード全体図（国際通り）



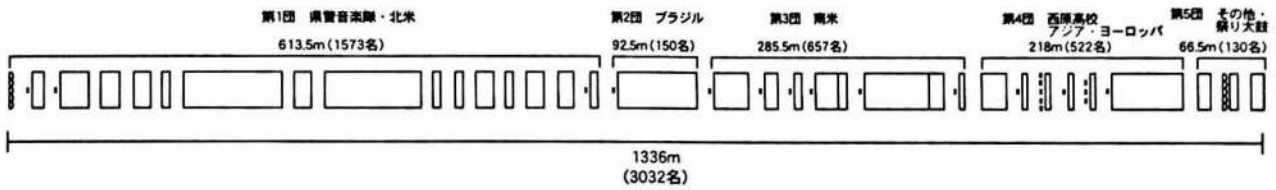
■整列レイアウト図（登屋小運動場）

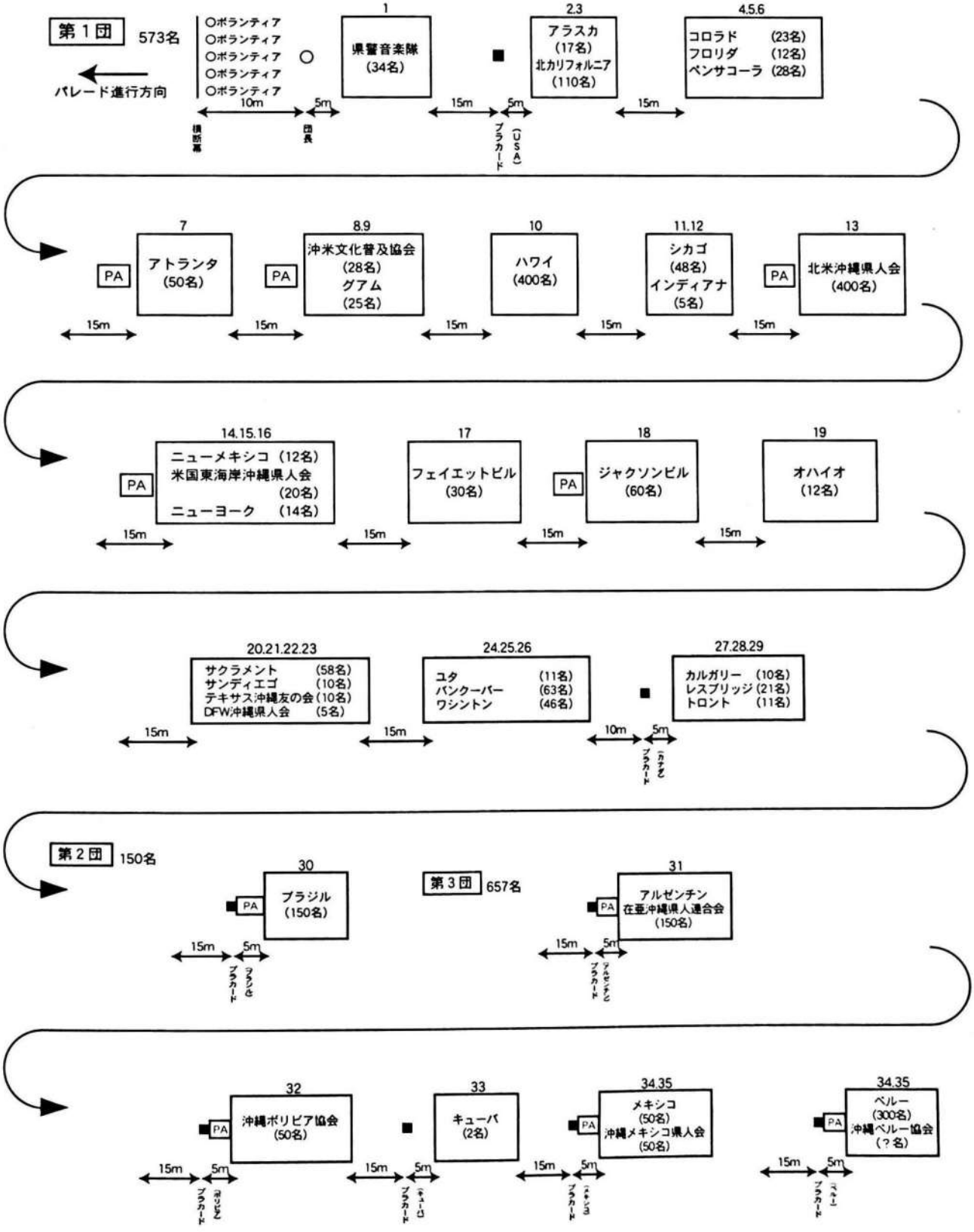


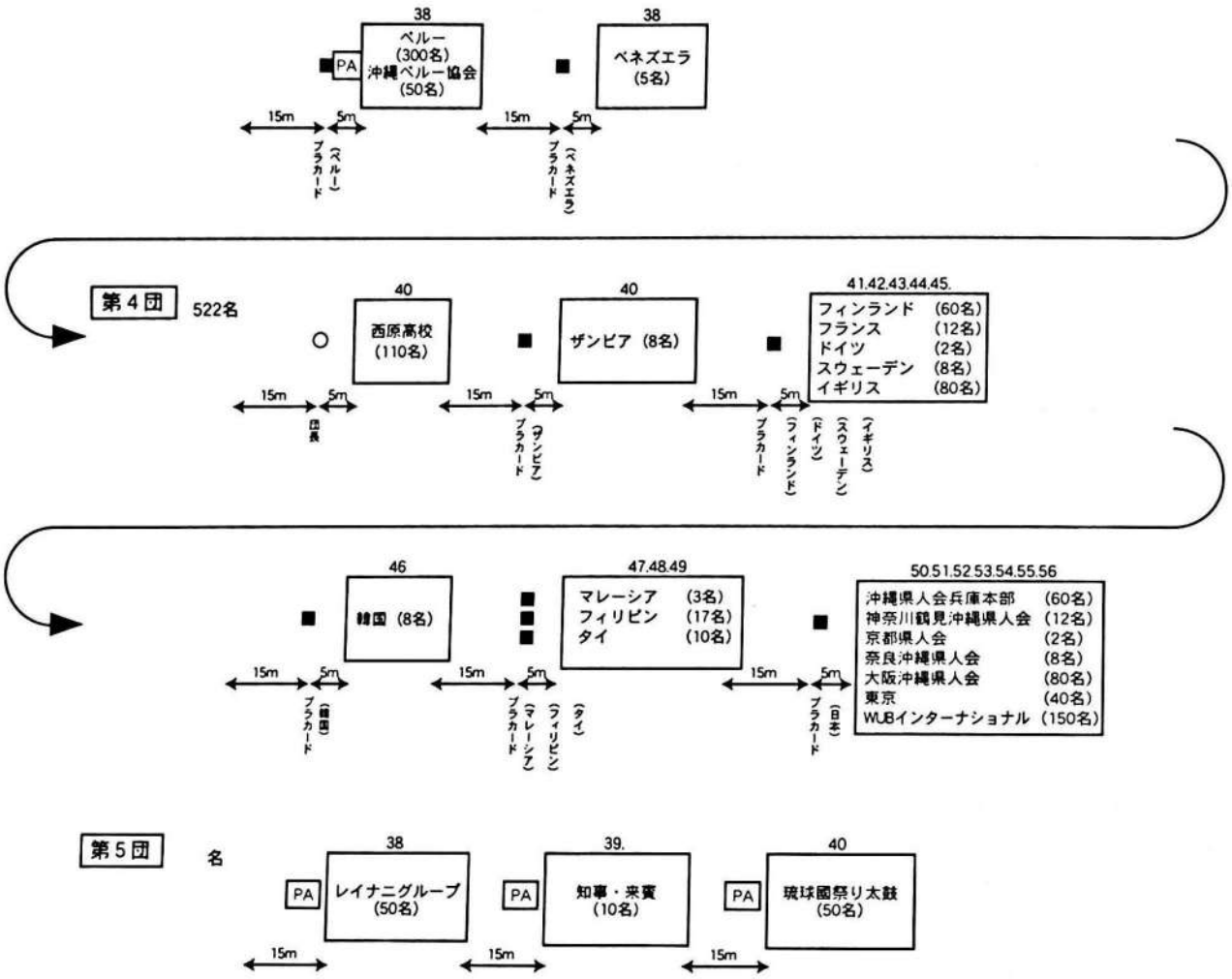
□ 1人あたりのスペース
70cm×80cm



■パレード全体構成図


第1団 県警音楽隊・北米
613.5m(1573名)
第2団 ブラジル
92.5m(150名)
第3団 南米
285.5m(657名)
第4団 西原高校 アジア・ヨーロッパ
218m(522名)
第5団 その他・祭り大鼓
66.5m(130名)
1336m
(3032名)


第1団 573名
○ボランティア
○ボランティア
○ボランティア
○ボランティア
○ボランティア
パレード進行方向
10m
5m
横断幕
団長
1
県警音楽隊
(34名)
15m
5m
プラカード
(USA)
2.3
アラスカ
(17名)
北カリフォルニア
(110名)
15m
4.5.6
コロラド (23名)
フロリダ (12名)
ペンサコーラ (28名)
PA
7
アトランタ
(50名)
15m
PA
8.9
沖米文化普及協会
(28名)
グアム
(25名)
15m
10
ハワイ
(400名)
15m
11.12
シカゴ
(48名)
インディアナ
(5名)
15m
PA
13
北米沖縄県人会
(400名)
15m
PA
14.15.16
ニューメキシコ (12名)
米国東海岸沖縄県人会
(20名)
ニューヨーク (14名)
15m
17
フェイエットビル
(30名)
15m
PA
18
ジャクソンビル
(60名)
15m
19
オハイオ
(12名)
15m
20.21.22.23
サクラメント (58名)
サンディエゴ (10名)
テキサス沖縄友の会 (10名)
DFW沖縄県人会 (5名)
15m
24.25.26
ユタ (11名)
バンクーバー (63名)
ワシントン (46名)
15m
27.28.29
カルガリー (10名)
レスブリッジ (21名)
トロント (11名)
10m
5m
プラカード
(カナダ)
第2団 150名
PA
30
ブラジル
(150名)
15m
5m
プラカード
(ブラジル)
第3団 657名
PA
31
アルゼンチン
在亜沖縄県人連合会
(150名)
15m
5m
プラカード
(アルゼンチン)
PA
32
沖縄ボリビア協会
(50名)
15m
5m
プラカード
(ボリビア)
33
キューバ
(2名)
15m
5m
プラカード
(キューバ)
PA
34.35
メキシコ
(50名)
沖縄メキシコ県人会
(50名)
15m
5m
プラカード
(メキシコ)
PA
34.35
ペルー
(300名)
沖縄ペルー協会
(?名)
15m
5m
プラカード
(ペルー)


38
ペルー
(300名)
沖縄ペルー協会
(50名)
PA
38
ベネズエラ
(5名)
15m
5m
プラカード
(ペルー)
プラカード
(ベネズエラ)
第4団
522名
40
西原高校
(110名)
40
ザンビア (8名)
41.42.43.44.45.
フィンランド (60名)
フランス (12名)
ドイツ (2名)
スウェーデン (8名)
イギリス (80名)
団長
プラカード
(ザンビア)
プラカード
(フィンランド)
(ドイツ)
(スウェーデン)
(イギリス)
46
韓国 (8名)
47.48.49
マレーシア (3名)
フィリピン (17名)
タイ (10名)
50.51.52.53.54.55.56
沖縄県人会兵庫本部 (60名)
神奈川鶴見沖縄県人会 (12名)
京都県人会 (2名)
奈良沖縄県人会 (8名)
大阪沖縄県人会 (80名)
東京 (40名)
WUBインターナショナル (150名)
プラカード
(韓国)
プラカード
(マレーシア)
(フィリピン)
(タイ)
プラカード
(日本)
第5団
名
38
レイナニグループ
(50名)
39.
知事・来賓
(10名)
40
琉球國祭り太鼓
(50名)

(4) 開会式

大会参加者を歓迎し、第3回世界のウチナーンチュ大会の開催の宣言と開催意義をアピールするため、開会式が行われた。開会式には、海外28か国・2地域及び国内、県内から約5,500人が参加した。 本大会では、特にステージ上の大画面(LED)を活用し、各挨拶の翻訳文を英語・ポルトガル語・スペイン語のテロップとして用意。挨拶の進行にあわせて放映し、海外参加者への便宜を図った。

今大会の大きな特徴として、「大会記念表彰」を実施した。これは、在住国において長年、各分野において特に尽力し、貢献のあった方々に対し沖縄県知事より特に表彰したものである。

このほか、特別ゲストとして沖縄を題材にしたNHKの人気ドラマ「ちゅらさん」の主演女優、国仲涼子さんにも挨拶をいただいた。

(ア)開催日時
平成13年11月1日(木)１３：００~１５：３０

(イ)開催会場
沖縄コンベンションセンター展示場(劇場にて映像中継も実施、第二会場として使用)

(ウ)参加者数
5,５００名

(エ)司会進行
ジェームス天願・具志堅アメリア

(オ)プログラム

10:30	開場　映像の上映「沖縄の自然・文化」「ジュニアスタディーツアー紹介」
13:10	オープニング映像　1995年～2001年までの記念すべき出来事を綴った映像を上映
13:13	開式　テーマソング「片手に三線を」演奏 琉球舞踊、アルベルト城間、琉球古典安富祖流音楽研究朝一会、沖縄芸能連盟
13:24	黙祷　アメリカ同時多発テロ事件の犠牲者への哀悼の意を表して1分間の黙祷
13:26	開会宣言　第３回世界のウチナーンチュ大会実行委員会副会長　沖縄県副知事　牧野浩隆
13:29	参加国・地域の紹介　宜野湾市立真志喜中学校吹奏楽部のマーチングバンドを先頭に、ボーイスカウト・ガールスカウトが旗手をつとめる28カ国・２地域の国旗と沖縄県旗の入場にあわせて参加国・地域を紹介
13:39	特別招待者紹介　海外県人会会長・県人会功労者・在任中のウチナー民間大使の紹介
13:49	主催者あいさつ　第３回世界のウチナーンチュ大会実行委員会会長　沖縄県知事　稲嶺惠一
13:55	歓迎のあいさつ ①第３回世界のウチナーンチュ大会実行委員会副会長　沖縄県議会議長　伊良皆　高吉 ②第３回世界のウチナーンチュ大会実行委員会副会長　沖縄県市長会会長　翁長　雄志
14:10	来賓祝辞 ①ヴェネズエラ・ボリヴァル共和国特命全権大使　カルロス・ビベロ ②沖縄及び北方対策担当大臣　科学技術政策担当大臣　尾身　幸次 （代読　仲村　正治　内閣府副大臣） ③アメリカ合衆国ハワイ州副知事　メイジー慶子広野 メッセージ紹介 ①ブラジル連邦共和国　南マットグロッソ州知事　ホセ・オルシリオ・ミランダ・ドス・サントス ②中国福建省長　習近平
14:25	海外県人会感謝状贈呈 海外県人会代表者52名への感謝状および記念品(琉球ガラス皿)の贈呈
14:41	大会記念表彰　海外在住国において、教育・文化・体育・スポーツ・社会福祉・産業経済・政治行政・一般篤行の分野で特に功績のあった４０名の皆様への表彰状および記念品(琉球漆器飾り盆)の贈呈
15:17	アトラクション　創作演舞「RYUKYU浪漫」　演出　平田太一 出演　与勝地域の子供・若者(90名)
15:32	ゲスト紹介　国仲　涼子
15:36	閉式のことば　第３回世界のウチナーンチュ大会実行委員会副会長 沖縄県副知事　比嘉　茂政
15:38	エンディング
15:40	終了

第３回世界のウチナーンチュ大会開会式　主催者あいさつ

ヴェネズエラ・ボリヴァル共和国特命全権大使カルロス・ビベロ閣下、メイジー慶子広野アメリカ合衆国ハワイ州副知事並びに仲村正治内閣府副大臣をはじめ、海外及び国内から多数の来賓をお迎えして第３回世界のウチナーンチュ大会開会式典を挙行できますことを大変光栄に存じます。

そして、世界各国から参集されました大会参加者の皆さん、メンソーレー、ようこそふるさと沖縄へ。万難を排して御出席くださいました皆様方に深く感謝いたしますとともに、県民を代表して心から歓迎を申し上げます。

世界のウチナーンチュ大会は、世界各国に広がるウチナーンチュ及び沖縄を愛する人々をネットワークで結び、また、世代を超えて沖縄の伝統文化を継承し互いの絆を深めることにより、相互の一層の発展に寄与することが大きな目的であります。これが、ひいては我が国が世界の平和、繁栄に貢献していく礎になるものと思います。

21世紀は調和と共生の時代でなければなりません。しかしながら、世界の現状は、依然として紛争と対立が続いています。私たちは、このような紛争や対立が一日も早く解消され、世界の恒久平和が実現することを切に願うものであります。

私は、国際平和の創造に貢献するため、「沖縄平和賞」を創設し、沖縄県民が持っている多様なものを受け入れる寛容さや相互扶助の精神、平和を愛し未来を創造するたくましさを世界に発信していきたいと考えています。

世界に広がるウチナーネットワークは、私たちにとって誠に力強い貴重な財産であります。今後とも、皆様方と共に手を取り合って世界の懸け橋として飛躍発展していくことができるよう全力を尽くしてまいりたいと存じます。

ところで、海外の県系人社会発展の基盤を築き、政治・経済、教育・文化など、各界において活躍されている海外のウチナーンチュは、私たち県民の大きな誇りであります。また、２１世紀初頭の記念すべき本大会において、このようなウチナーネットワークの基盤を築いてくださった先達の皆様方を世界のウチナーンチュ大会記念功労者として表彰することができますことを、私はたいへん光栄に存じます。

今回の大会には、２８か国２地域から多くの方々の御参加をいただきました。皆様方には大会を通して互いの絆を深めつつ、ふれあいの場を広げていただきたいと思います。皆様方の御来県は、県民に新しい出会いとともに、勇気と希望を与えてくれるものです。

終わりに、大会の成功に向けて温かいお志を賜りました多くの県民の皆様方に改めて感謝を申し上げますとともに、大会参加者の皆様方の御健勝とますますの御活躍を祈念申し上げ、開会のごあいさつといたします。

平成１３年１１月１日
第3回世界のウチナーンチュ大会実行委員会会長
沖縄県知事　稲嶺　惠一

開会式メッセージ

沖縄のみなさんへ

用務があり残念ながら第３回世界のウチナーンチュ大会には参加できませんが、サンタクルス州を代表して、みなさまにごあいさつをお送りします。

サンタクルス州と沖縄県との友好関係は、姉妹提携が開始された９年前からではなく、さらにさかのぼって既に４０年前から、活動を共有しています。

さらに、今回、世界のウチナーンチュ大会の開催により、サンタクルス州と沖縄県は、友好関係をさらに深めるいい機会を得ています。

ボリビアでは日本政府の援助によりさまざまな開発プロジェクトが行われていますが、特にコロニア・オキナワのある地方は、生産性が高く、日系人の方々が一生懸命努力を傾けており、サンタクルス州にとって大切な地方になっています。

サンタクルス州を代表して、第３回世界のウチナーンチュ大会の開催に祝意を表すとともに、大会の成功を祈念いたします。

さまざまな分野において世界各国と知識の交換が行われることにより、ウチナーンチュのネットワークがさらに広がり、沖縄県が発展することを希望します。

（概訳）

２００１年１１月１日

ボリビア・サンタクルス州知事　ウイルマル　ステルセル

「第３回世界のウチナーンチュ大会」開会式にあたり心からお祝い申し上げます。

世界各国でご活躍されている沖縄県出身の皆様、心から歓迎いたします。

今、世界は暗いニュースが飛び交っていますが、このような時にこそ人と人との交流、国際的な文化の対話が必要であり、それが世界を新しい平和の世紀へと導くものと私は信じております。

本日は、世界各国から「平和と文化の国」「うちなー」に多くの方が集われました。本大会のさまざまなイベントを通し、平和の対話を重ねる私たちは、必ずや平和な地球を作り出す「先人」となることを確信しております。

「沖縄から世界へ」国際交流の原点を示す「ウチナーンチュ大会」を大成功させてまいりましょう。

ご参集の皆様のいっそうのご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

平成13年11月1日

衆議院議員　白保　台一

世界の各地でご活躍されている県人の皆様、ご来県を心から歓迎申し上げます。

さて、異郷の地で根を下ろし、今日の地位を築くまで大変なご苦労を経験したものと存じます。

ふるさとを離れた皆様には、志の半ばで無念の思いをされた方、あるいは時の利、地の利を歩んでこられたものと推察します。

しかし、今回の礎を築くには先人の汗と涙の上にあることを忘れてはなりません。

大会にご参加いただきました県人の皆様、ふるさとで心ゆくまでお楽しみください。

そして明日への英気を養い、今回の来県が新たな飛躍の糧になれば幸いです。

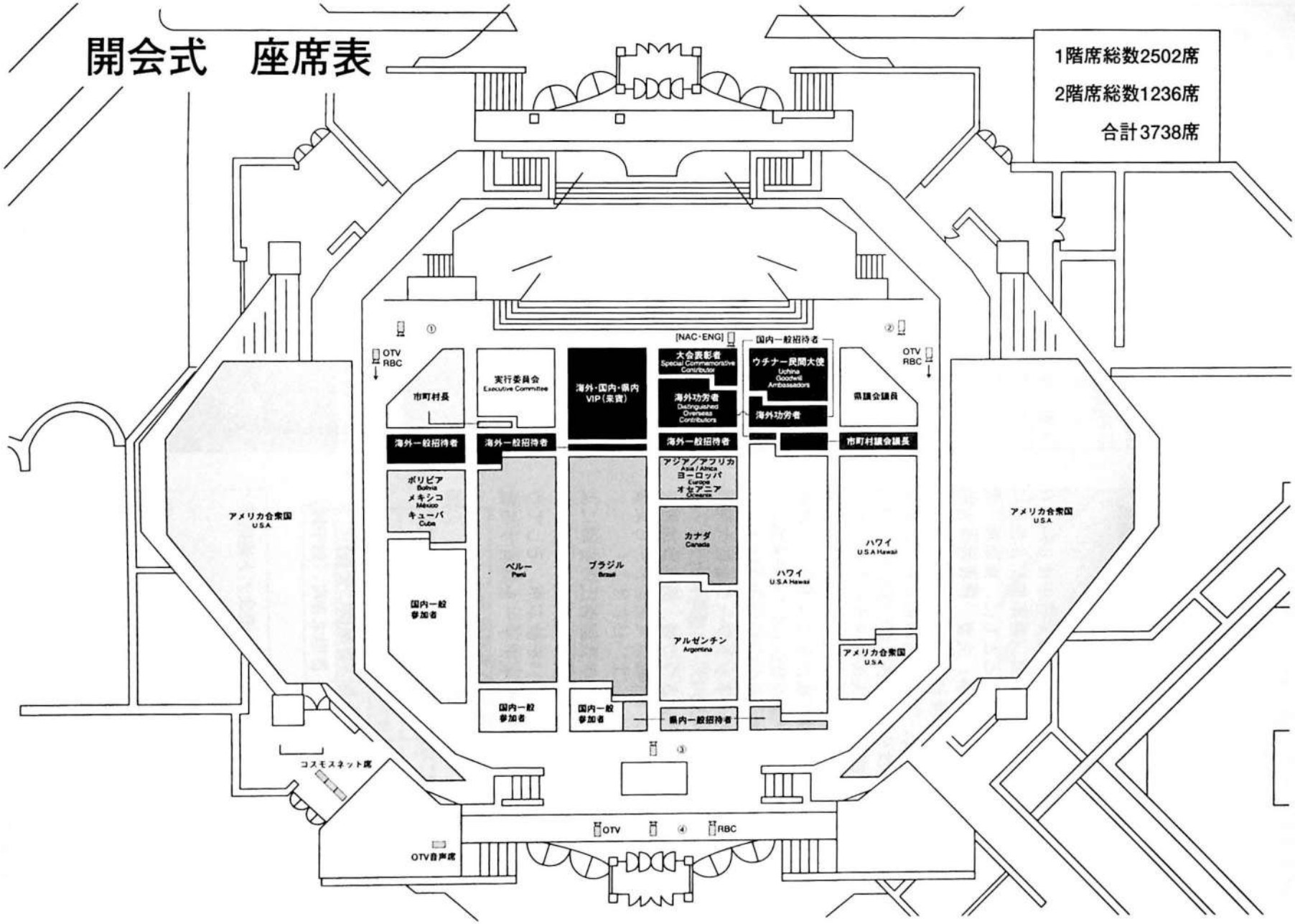
皆様のご繁栄を更なるご活躍を祈念申し上げ、大会に寄せる言葉と致します。

平成13年11月1日

衆議院議員　下地　幹郎

開会式　座席表

1階席総数2502席
2階席総数1236席
合計3738席



(5) 歓迎レセプション

（ア）開催日時　１１月１日
　　午後７時～午後８時４５分
（イ）開催場所　沖縄ハーバービューホテル
　　（彩海の間）
（ウ）出席者　４５０名
　　大会記念表彰功労者、海外功労者、民間大使、ＶＩＰ（海外、国内、県内）、県議会議員、市町村長、大会実行委員

歓迎レセプションは、１１月１日午後６時３０分から御座楽復元演奏研究会（喜瀬慎仁会長）による由緒ある御座楽の演奏とともに、稲嶺恵一実行委員会会長（沖縄県知事）夫妻、伊良皆高吉県議会議長夫妻及び崎間晃沖縄県商工会議所連合会会長による迎賓の後、７時から開催された。会場には各市町村長をはじめ県内各界からおよそ１５０人が参加、遠来の約３００人のウチナーンチュたちを温かくもてなすとともに交流を深めた。主催者を代表して稲嶺会長は「私たちには世界中に沖縄と深い絆を持つ豊富な人的財産があることを実感し、皆様方の沖縄へ寄せる熱い思いに強く心を打たれた。今後とも、このウチナーネットワークを拡大発展させていこう。」と呼びかけ、共感を得た。

崎間会長の歓迎のあいさつの後、海外参加者を代表して宮城調智ﾌﾞﾗｼﾞﾙ沖縄県人会会長から来賓あいさつがあった。

ペルー沖縄県人会顧問の伊芸銀勇氏の音頭による会場一丸となった乾杯の後、歓談に移ると、久方ぶりの再会や新しい出会いを歓ぶ声、そしてウチナーンチュ・アイデンティティーを共有する歓びで会場は大きな盛り上がりを見せた。

大会の年にＴＶ放送された「ちゅらさん」の国仲涼子さんも駆けつけ、レセプションに花を添えた。

＜協力団体＞
御座楽復元演奏研究会（喜瀬慎仁会長）
那覇市指定無形文化財　首里末吉町「獅子舞」（比嘉清昇会長）

歓迎レセプション式次第　　司会／下地則子

・お出迎え（会場入口廊下）
稲嶺恵一実行委員会会長（沖縄県知事）夫妻、伊良皆高吉県議会議長夫妻及び崎間晃沖縄県商工会議 所連合会会長が迎賓
－出席者は御座楽復元演奏研究会による御座楽の演奏の中を入場－

・主催者あいさつ
稲嶺恵一大会実行委員会会長（沖縄県知事）

・歓迎あいさつ
崎間晃沖縄県商工会議所連合会会長

・来賓あいさつ
宮城調智ブラジル沖縄県人会会長

・乾杯
伊芸銀勇ペルー日系人協会・ペルー沖縄県人会顧問

・歓　談
アトラクション

・閉会のあいさつ
比嘉茂政大会実行委員会副会長（沖縄県副知事）

お見送り
稲嶺恵一大会実行委員会会長他関係者とアトラクション出演者

御座楽による迎賓風景

場内の歓談の模様

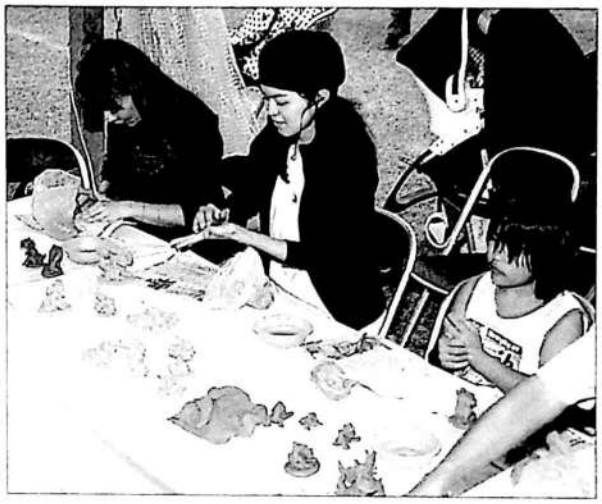
(6) ウチナーンチュ交流祭

ア　ステージイベント

４日間にわたり多様なステージイベントが実施され、予定したプログラムは全演目無事終了した。なかでも「世界のウチナーンチュ大集合」に参加した15団体は、南米、北米、アジアと多地域に渡りその熱演には、惜しみ無い賞賛の拍手がわき起こった。一方、彼らとの交流を図るべく集結した3,000人を超える地元沖縄の出演者達は、元気一杯その熱達した演舞を披露した。特筆すべきは、「全島旗頭フェスティバル」からカチャーシー総踊りのエンディングにかけての盛り上がりで、ステージと観客が一体となって歓喜の輪を作り出した。

イ　伝統芸能・工芸体験教室

芸能３教室、工芸３教室を開催した。平日、昼間は受講生の出足が多少鈍かったが、土・日・夕方からは参加者が途切れること無く、結局終了時間まで連続して実施する程盛況であった。参加者も貴重な体験が出来たことをよろこんでいた。



ウ　実施概要

（ア）日程

１１月１日〈木〉15：00～21：00
１１月２日〈金〉13：00～21：00
１１月３日〈土〉13：00～21：00
１１月４日〈日〉13：00～21：00

（イ）会場

宜野湾海浜公園多目的広場

（ウ）出演者数〈ステージ〉

１１月１日〈木〉　約４００名
１１月２日〈金〉　約１００名
１１月３日〈土〉　約７００名
合計　約３，６００名
＊海外出演者約２８０名

（エ）工芸・体験教室参加者数

	紅型	木工	陶芸	ぶくぶく茶	エイサー	三線
11/1	３６名	８名	３９名	２７名	４１名	３５名
11/2	３８名	２１名	４７名	４１名	５３名	３９名
11/3	６６名	３２名	７１名	４４名	６７名	５２名
11/4	８０名	３６名	７６名	５８名	８７名	６７名
合計	220名	９７名	233名	170名	248名	193名

第３回世界のウチナーンチュ大会「ウチナーンチュ交流祭」ステージプログラム

11月1日（木）15：00〜21：00
司会：よっちゃん、當銘直美、堀川カロリーナ

- 9:00
- 10:00 ●「ロック・JAZZ・民謡の融合」－リハ
- 11:00 ●世界各国の芸能団体　リハ
- 12:00 ●マーチングバンド　リハ
- 13:00 スタンバイ
- 14:00
- 15:00 **輝け！マーチングバンド**
  「西原高校」「嘉数中学校」
  「城東小学校」
- 16:00 **世界のうちなーんちゅ大集合**
  みんなの唄と踊りの広場！
  「アルゼンチン代表」
  「ユタ州沖縄県人会」
  「オーベイシ・キリ・ダ・コザ」
  「アルゼンチンタンゴ」
  「TORAS LAS SAGREA」
  「琉球サブカイ」
- 17:00
- 18:00 **島唄の世界　第１夜**
  「ロック・JAZZ・民謡の融合」
  「池田卓」　「テリ重田」
  「我如古より子」　「津嘉山正明」
  「伊良皆高吉」　「屋良文雄」
  「かっちゃん」
  「宮永英一」
  「ジョージ紫」
  協力：沖縄県ロック協会
  沖縄JAZZ協会
- 19:00
- 20:00
- 21:00

11月2日（金）13：00〜21：00
司会：嘉手苅聡、新垣恵子、堀川カロリーナ

- 9:00 ●バーシャクラブ－リハ
- 10:00 ●しゃかり－リハ
- 10:45 ●ジョニー宜野湾－リハ
- 11:00 ●ミヤギマモル－リハ
- 11:15 ●バイロン・ジョーンズ－リハ
- ●ヤングミュージックフェスタ－リハ
- 12:00
- 12:30 ●世界各国の芸能団体－リハ
  花やから　朋里曾子　宮園ゆう子
- 13:00 **世界のうちなーんちゅ大集合**
  みんなの唄と踊りの広場！
  「ワシントンD.C.沖縄三線」
  「花やから」
  「朋里曾子」
  「宮園ゆう子」
- 14:00
- 15:00 **みんなの唄と踊りの広場！**
  「仲里幸広」
  「下地暁」
  「月ノ組」
  「石川清貴」
  「花園瞳」
  「とむとむね」
  「YOKO」
  「西平涼子」
  「池田卓」
  「アイロウ&タカ」
- 16:00
- 17:00
- 18:00
- 18:30 **島唄の世界　第2夜**
  「新たなる時代へ・・・」
  「バイロン・ジョーンズ」
  「ジョニー宜野湾」
  「ミヤギマモル」
  「しゃかり」
  「バーシャクラブ」
- 19:00
- 20:00
- 21:00

11月3日（土）13：00〜21：00
司会：狩俣倫太郎、當銘直美

- 9:00 ●大工哲弘－リハ
- 9:30 ●夏川りみ－リハ
- 9:45 ●平ゆき－リハ
- 10:00
- 10:15 ●日出克&琉球國祭り太鼓－リハ
- 11:00
- 11:15 ●青年エイサー－リハ
- 11:45 ●沖縄の民族芸能－リハ
- 12:00
- 12:30 ●世界各国の芸能団体－リハ
- 13:00 **世界のうちなーんちゅ大集合**
  みんなの唄と踊りの広場！
  「ジャクソンビル沖縄県人会」「ナニ・マイル」
  「在沖フィリピン文化協会」
- 14:00 **沖縄の民族芸能**
  「安里南之島保存会」　「奥武棒保存会」
  「伊江村民俗芸能保存会」　「名護久志人形踊り」
  「首里汀良町獅子舞保存会」「伊集打花鼓」
- 15:00 **大エイサー大会第1部**
  「青年エイサー」
  ※県内各エイサー団体　7団体予定
- 16:00
- 17:00 **大エイサー大会第2部**
  「時空の舞」
  「琉球國祭り太鼓」
  「日出克」
- 18:00
- 18:30
- 18:45
- 19:00 **島唄の世界　第3夜**
  「熱きウチナーの心・・・」
  「平ゆき」
  「大工哲弘」
  「夏川りみ」
  「日出克&琉球國祭り太鼓」
- 20:00
- 21:00

11月4日（日）13：00〜21：30
司会：玉城満、宮城まりこ、堀川カロリーナ

- 9:00 ●太陽風オーケストラ－リハ
- 9:30 ●旗頭－リハ
- 10:00
- 10:30 ●ディアマンテス－リハ
- 11:00
- 11:30 ●沖縄の民俗芸能－リハ
- 12:00
- 12:30 ●世界各国の芸能団体－リハ
- 13:00 **世界のうちなーんちゅ大集合**
  みんなの唄と踊りの広場！
  「タイ国沖縄県人会」「メキシコ民族芸能」
  「フェイエットビル」「米国東海岸沖縄県人会」
  「中谷夏子琉球芸能」
- 14:00
- 14:30 **沖縄の民族芸能**
  「東風平町志多伯獅子舞」
  「泡瀬京太郎」
  「佐敷町津波古獅子躍跳」
  「宮古唄・三線保存会」
  「金武町弥勒保存会」
  「東風平町志多伯棒術」
  「金武町伊芸南之島保存会」
  「宮古島伝統芸能クイチャー」
  「佐敷棒術」
  「玉城村前川青年会アヤグ」
- 15:00
- 16:00
- 17:00
- 18:00 **全島旗頭フェスティバル**
  ※県内各エイサー団体　7団体予定
  「太陽風オーケストラ」
- 19:00
- 20:00
- 20:15 **エンディング**
  「ディアマンテス」
  カチャーシー総踊り
  ※宜野湾市カチャーシー団体+総出演者
- 21:00
- 21:30

(7) ワールドバザール

世界の料理コーナーでは、アルゼンチン、ブラジル、ペルー、メキシコ、タイ、フィリピン料理の出店があり、来場者が連日長蛇の列を作り、盛況であった。

特に人気のあったのは、チョリソーをパンにはさんだチョリパン（アルゼンチン）、コシンヤやミートパイ（ブラジル）、エンパナダやインカコーラ（ペルー）、ケサビーヤやタコス（メキシコ）、タイ風焼そば（タイ）などで、手頃な値段と歩きながら食べられるという気軽さが来場者に好評であった。

世界の物産コーナーでは、カナダ、ペルー、ボリビア、ブラジル、タイ、メキシコの各国県人会・協会の出店ブースがにぎわいをみせ、特にTシャツやアクセサリー、雑貨類などが売れていた。また、ラジオ日系のブースではブラジル物産展と銘打って出店し、アメジスト、水晶、方解石を買い求める客で連日にぎわった。

タイ、メキシコ、ペルーなどのブース前では、自国の民俗衣装を身にまとった売り子さんが、記念写真のサービスを実施したり、ギター片手に民俗音楽を演奏する歌い手などが登場したり、販売促進に一役かった。海外参加者は初日と最終日に多く見うけられ、沖縄の土産品を取り扱うブースに集中した。

特に琉球人形や民芸品の売れ行きが良く、一般県民は、普段見ることのない物珍しい世界の料理と物産のブースに大きな関心を示していた。

（ア） 実施日程
11月1日（木）13：00～21：00
11月2日（金）10：00～21：00
11月3日（土）10：00～21：00
11月4日（日）10：00～21：30

（イ） 会　場
宜野湾海浜公園多目的広場

（ウ） 主　催
第3回世界のウチナーンチュ大会実行委員会

（エ） 共　催
沖縄タイムス社

（オ） 出店企業
a　出店企業：106社（飲食28、物販78）
b　ブース数：130ブース(飲食40、物販90)
c　海外出店：8カ国　15ブース（カナダ、アルゼンチン、ブラジル、ボリビア、ペルー、メキシコ、タイ、フィリピン）

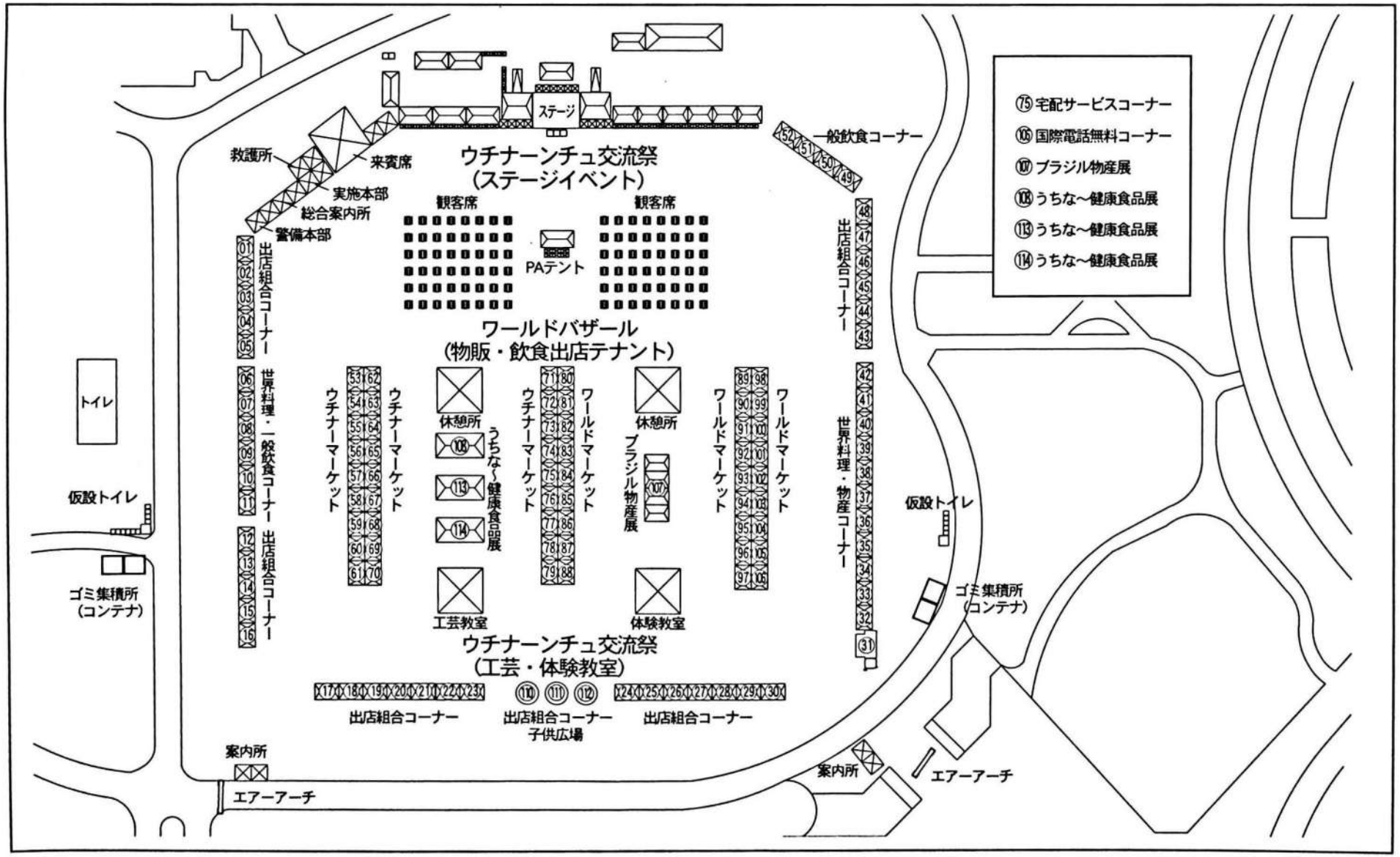
（カ） 各種コーナー
ワールドマーケット：世界の物産、料理など
ウチナーマーケット：沖縄の物産、料理など
うちなー健康食品展：健康茶、ウコンなど
ブラジル物産展：アメジスト、水晶など

ワールドバザール出展者リスト

1　南国堂パーラー
2　翁長ゲーム
3　知念商店
4　フォーモストブルーシール株式会社
5　和牛亭
6　砂川商店
7　在亜沖縄県人連合会
8　宮城パーラー
9　平良商店
10　マルヨパーラー
11　大宮商事
12　玉城パーラー
13　長濱ゲーム
14　美歓コーポレーション
15　具志堅ゲーム
16　金城パーラー
17　伊波商事
18　池宮パーラー
19　キッチンジャスパー
20　ポッテ・デ・オウロ
21　TUS　AMIGOS
22　沖縄フィリピン協会
23　ペーニャあまんかい
24　メキシコ沖縄県人会
25　パステルブラジル
26　南米料理レストランポヨ・リコ
27　タイ国料理ジャイタイ
28　南海堂
29　平良商事
30　石原昌昭
31　味道
32　沖縄コカ・コーラボトリング株式会社
33　オリオンビール株式会社
34　めちゃうま
35　ドライブインレストランまーすやー
36　株式会社海邦商事
37　小浜養蜂場
38　有限会社沖縄出版
39　ちゅらさん屋
40　やんばる物産センター

41 有限会社ハマショク
42 沖縄県酒造組合連合会
43 南風堂株式会社
44 又吉薬草園
45 有限会社佐良浜総業
46 合資会社桂人形店
47 かぶき
48 那覇出版社
49 全島旗頭フェスティバル事務局
50 合資会社沖縄関ヶ原石材
51 日本レコード商業組合沖縄支部
52 KNセラミックス
53 株式会社座間味こんぶ
54 西むら食品株式会社
55 沖縄ヤマト運輸株式会社
56 はいさいフーズ
57 有限会社山宏物産
58 ストーリー
59 株式会社ポリドール沖縄
60 株式会社サンコープランニング
61 有限会社健康の達人エムディーエム
62 宜野湾写真館
63 ライトプランニング
64 株式会社テクノマーケティングセンター
65 株式会社ジミー
66 マルセイ商会
67 パンタイ
68 株式会社大東エンジニアリング
69 CHIP.CHIP
70 タレフタレフ
71 ペルー沖縄県人会
72 沖縄ペルー協会
73 有限会社フジタカクリエイション
74 在伯沖縄県人会
75 琉球放送株式会社
76 カナダ・アルバータ州政府在日事務所
77 カナダトレードセンター
78 沖縄カナダ協会
79 リュウショウ
80 タイ国沖縄県人会
81 沖縄ボリビア協会
82 オリエント企画
83 NTTコミュニケーションズ株式会社
84 株式会社大一酒類販売
85 ラジオ日系
86 株式会社エース
87 有限会社健食沖縄
88 株式会社仲善
89 有限会社北斗産業
90 株式会社琉球バイオリソース開発
91 株式会社比嘉製茶
92 沖縄ハム総合食品株式会社
93 政田商店
94 沖縄県健康食品産業協議会
95 有限会社アロエース
96 株式会社ビレモ沖縄
97 株式会社沖縄美健
98 有限会社沖縄長生薬草本社
99 有限会社ミヤソウケン
100 沖縄特産販売株式会社
101 有限会社ネットリサーチ
102 有限会社沖縄ウコン販売
103 有限会社沖縄農興
104 有限会社水耕八重岳
105 伊是名村農業協同組合

ワールドバザール＆ウチナーンチュ交流祭会場レイアウト



(8)　世界のウチナーンチュ　歴史と未来展

海外移民の歴史及び現在、世界で活躍するウチナーンチュの活動とその未来を展望し、ウチナーンチュ大会の原点を認識するとともに、次世代へのウチナーンチュのアイデンティティーの継承を図り、ウチナーネットワークの拡大発展を展望するための展示会を行った。

ア　概要

（ア）実施日時

11月1日（木）～11月4日（日）
午前10時～午後6時※初日のみ11時開館

（イ）実施会場

沖縄コンベンションセンター・第2会議場

（ウ）実施内容

2階の展示コーナーでは、パスポートや写真、地図、日記など、県立博物館や市町村、団体が所蔵する海外移民の歴史を伝える貴重な資料を中心に展示した。パンフレットについては、日本語・英語・スペイン語・ポルトガル語の4ヵ国語で作成し来場者に配布した。また、会場1階にビデオコーナーを設けて移民関連のビデオを放映した。2階会場においても、7月に実施されたジュニアスタディーツアーの記録ビデオを放映した。

（エ）入場者数

11月1日（木）	695人
11月2日（金）	1,135人
11月3日（土）	1,919人
11月4日（日）	2,061人

（オ）協力団体

沖縄県立博物館、沖縄県公文書館、沖縄県教育庁文化課、（財）沖縄県文化振興会公文書管理部、金武町教育委員会、西原町教育委員会、佐敷町史編集室、沖縄県文化環境部文化振興課、沖縄県商工労働部商業貿易課、名護市市史編纂室、名護市教育委員会、沖縄カナダ協会、（株)明拓、那覇市歴史資料室（順不同）

（カ）その他

- 各国紹介映像に関しては、OTV制作の「世界のウチナーンチュ紀行」の取材先の国を編集構成で紹介した。
- 第3回世界のウチナーンチュ大会・プレイベントのジュニアスタディーツアー記録ビデオを放映。
- 名護市姉妹都市こどもサミット記録放映。
- カナダ100周年移民の歴史（未放映）
- ハワイにいきる（未放映）

イ　作業経緯

今回、本展示会を実施するにあたり、展示検討委員会（委員長1名、副委員長1名、委員6名で構成）を発足させ、展示構成及び展示品目の選定についても、4回の展示検討委員会を県庁等で開催し、委員の専門家の方からの助言をもとに実行委員会の展示品目や展示方法を決定した。

展示検討委員会

石川　友紀	委員長（琉球大学教授）
吉田　朝啓	副委員長（沖縄大学教授）
島袋　伸三	委員（琉球大学教授）
宮城　保	委員（沖縄県公文書館長）
千木良芳範	委員（県立博物館学芸課長）
新垣　誠	委員（沖縄キリスト教短期大学助教授）
新垣　安子	委員（佐敷町　町史編集室）
儀武　剛	委員（金武町総務課財政係長）